

357.4
N629n2

添附物
地図
2枚



0033054000

0033054-000

357.4-N629n2

南洋群島現勢要覽

南洋庁

1930

AFC

四和五年

南洋群島現勢要覽

南洋廳

3922

357.4
N629n2



凡 例

一、本書は南洋群島の現勢を知るの便に資せんか爲、主要なる事項に就き、其の統計的説明をなせり。

一、本書は主として昭和三年末調に依れり、其の之に依らざるものには、特に調査期を附記せり。

昭和五年二月

南 洋 廳

39225

南洋群島現勢要覽目次

○沿革	一
マーシャル群島	
マリアナ群島	
カロリン群島	
○位置	四
南洋群島經緯度	
最端地名	
各群島別經緯度	
○面積	六
面積及島數	
○氣象	九
サイパン島月別氣象表	
ヤップ島月別氣象表	
トラツク島月別氣象表	
ボナベ島月別氣象表	
バルオ島月別氣象表	
ヤル―ト島月別氣象表	
○人種	一四
○風俗	一六
○戶口	一九
人口	
密度	
戶數	
職業別人口	
年齡別人口	
邦人本籍別人口	
出生、死亡	
死亡者年齡別	
移住、退去人員	

○南洋廳

行政系統 行政區劃 職員定員

四五

○土地

官有土地貸下面積

四八

○農業

耕地面積 農業戶數 農產物 家畜及家禽

四九

○糖業

甘蔗作付面積及產糖高

五四

○林業

林野產物 椰子

五六

○鑛業

磷鑛(精鑛)移出累年表

五八

○水產業

水產物漁獲高及水產製造物高

六〇

○工業

六三

工產物 手藝品 酒類釀造高 工場

○電氣

發電機臺數 發電機用原動機臺數 電燈數

六六

○商業

物價 勞銀

六九

○貿易

移出品 移入品 輸出品 輸入品 移輸出品累年表 移輸入品累年表

七三

○金融

為替貯金取扱金額

八七

○運輸交通

道路延長 軌條 諸車 內地群島間及群島內各主要島間距離 出入船舶數

八九

船舶乘降人員數 船舶舟艇 航路標識 郵船航路運賃表

○通信

郵便局所在地 通常郵便物取扱數 小包郵便物取扱數 電信系統

九七

電報取扱通數及料金 為替貯金取扱數及金額 電話

○財政

一〇二

豫算及決算 租稅收入總額 人頭稅徵收額 關稅及出港稅徵收額
租稅外收入總額 官業及官有財產收入額 雜收入額

四

○地方行政

村吏 在郷軍人職業別 在郷軍人兵種別

一〇六

○教育

小學校學級職員及兒童數 公學校學級職員及兒童數 公學校寄宿舍寄宿兒童數
公學校卒業生數 木工徒弟養成所學級職員及生徒數 私立學校

一〇九

○宗教

教會布教師及信者數 宗教學校教師及生徒數

一一五

○警察

警察職員 警察官署 檢疫 災害 變死傷 警察取締ニ屬スル諸營業
犯罪竝檢舉件數 即決處分件數及人員 外國旅券

一一八

○司法

法院配置及管轄區域 法院職員 檢事局受理處分件數 刑事事件受理處分件數
民事事件受理處分件數 和解事件受理處分件數

一二七

○衛生

醫院職員 患者表

一三一

南洋群島現勢要覽

○沿革

南洋群島とは舊獨逸領中、北太平洋中に星散基布する幾多の島嶼を總稱す、之を大別して「マーシャル」群島、「マリアナ」群島、「カロリン」群島の三とす。

マーシャル群島

本群島は西曆千五百年代に於て發見せられたりと傳ふるも、周ねく世上に紹介せられたるは、實に千七百八十一年英國の船長「マーシャル」の探檢に始まる、故に其の船長の名を冠して「マーシャル」群島と稱せり。

當時尙は其の占領の形式全からざるに乘じ、獨逸は苟かに之を占領せんとの野心を包藏し、先づ獨逸「ハンブルグ」の「ポター」商會を誘導庇護し、以て本群島開拓の任に膺らしめ、著々占領の計畫を進め、千八百七十七年には軍艦「アドリアネ」を派遣し「ヤルト」島の一酋長に交渉し、貯炭場設置を承諾せしめ、尋で千八百八十五年再び砲艦「ナウチクス」を派遣し、各酋長を説き「ヤルト」

島及其他の群島を占領するに至れり、其の後千八百八十八年英獨間の協約を以て「ギルバート」島を英領とし、本群島及「ナウル」群島を獨逸の植民地と定めたり。

二

マリアナ群島

本群島は千五百二十一年有名なる葡萄牙の航海者「マゼラン」之を發見し、千五百六十五年始めて西班牙の領有に歸せり、時の皇帝「ヒリツプ」四世の皇后「マリアナ」は、土人の教化事業の費用を下賜せられたるを以て、之が徳を稱へんが爲め皇后の名を冠し、「マリアナ」群島と稱せり。

千八百九十九年彼の米西戦争の結果、西班牙政府は比律賓及「マリアナ」群島中の巨島なる「グアム」島を米國に割譲するに至れり。

獨逸は西班牙が戦後益々財政の困難を極むるを奇貨とし、之が讓與を提議し數回折衝の結果千八百九十九年六月「マリアナ」、「カロリン」の二群島を併せて二千五百萬「ベセタ」(我約九百六十萬圓)を以て買收せり。

カロリン群島

本群島は從來東西「カロリン」及「バラオ」諸島と稱せられたるものにして總稱して「カロリン」群

島となす、東西「カロリン」の境界は東經百四十八度を以てす。

本群島は千五百二十七年葡萄牙人「デイエゴ、ダ、ロシヤ」に依りて發見せられ、千六百八十六年西班牙の領有に歸す、時の國王「カロロ」二世の名に因みて之を「カロリン」群島と稱す。

千八百九十九年六月獨逸は本群島を「マリアナ」群島と共に西班牙より買收せり。

以上獨逸領たりし三群島は這般の歐洲大戰に依り大正三年(西曆千九百十四年)十月我海軍の占領する所となり、次で對獨平和條約の結果、大正十年(西曆千九百二十一年)四月より、我國之が委任統治を爲すことゝなれり、大正十一年四月一日臨時南洋群島防備隊司令部廢止と共に南洋廳を置かる。

○位 置

日本帝國の委任統治地たる南洋群島は帝國の南に位し「マリアナ」、「カロリン」及「マーシャル」の三群島より成り、東は遙に米領「ハワイ」に對し、西は「フィリッピン」諸島及蘭領「セレベス」島に隣り、南は「ニューギニア」島及「ビスマルク」諸島に面し、北は帝國の南端小笠原島及硫黃諸島に連る。「マリアナ」群島中に介在する米領「グアム」島を除き、三群島の島數約六百二十三の多きに達す。今之を經緯度に依りて其の區域を示せば左の如し。

南洋群島經緯度

日本帝國委任統治地域	自東經	一三〇度
	至東經	一七五度
	自北緯	〇度
	至北緯	二二度

最端地名

極東	マーシャル群島ミレ島
極西	西カロリン群島トコベー島
極南	東カロリン群島グリーニツチ島
極北	マリアナ群島ウラカス島

各群島別經緯度

極東	東經	一四六度	マリアナ
極西	東經	一四四度	
極南	北緯	一四度	
極北	北緯	二二度	
極東	東經	一六一度	カロリン
極西	東經	一三〇度	
極南	北緯	〇度	
極北	北緯	一一度	
極東	東經	一七五度	マーシャル
極西	東經	一六一度	
極南	北緯	四・三〇度	
極北	北緯	一五度	

○面積

廣袤實に南北千二百哩、東西二千五百哩の海面を包擁する我南洋群島も、陸地の面積は極めて狭小にして、島嶼、岩礁の類一千四百五十八餘を合算して仍約百四十方に過ぎず、略我沖繩縣（一四四方里）又は東京府（一三八方里）の面積に等し（島嶼中猶未だ實測を経ざるもの多く、此等に對しては、概數を以て計算せり、他日調査完了を俟て訂正す）

面積及島數

群島別	島數	面積
マリアナ群島	一四	四一、四三 <small>（米領グアム島を除く）</small>
カロリン群島	五四九	八五、五九
マーシャル群島	六〇	一一、三〇
計	六二三	一三九、三二
支應管區別	島數	面積
サイパン支應管内	一四	四一、四三 <small>（方里）</small>

ヤップ支應管内	八五	一四、六四
バラオ支應管内	一〇九	三一、〇〇
トラツク支應管内	二四五	八、五五
ボナベ支應管内	一三八	三二、六五
ヤルット支應管内	三二	一一、〇五
計	六二三	一三九、三二

（三二の島嶼は更に八六七礁島より成る）

主要島別	面積
マリアナ群島	一、二〇〇 <small>（方里）</small>
同	六、三五
同	八、一〇
同	一四、〇〇
同	二四、〇〇
同	〇、五〇
同	一、四三
同	〇、五八

同	水曜島	一、五一
同	ボナベ島	二四、三四
同	クサイ島	七、五〇
同	マーシャル群島	〇、五一
	ヤルルト島	

○ 氣 象

本群島は其の位置赤道に接し全管内悉く熱帯圏内に在るを以て他の温帯地の如く四季の別あるなし、即ち一年を通じて温帯地夏期の氣候なり、然れども各島皆これ大洋中の孤島面積狭小なるを以て四面の海風常に吹いて純然たる海洋性氣候に屬し其の晝夜の差に依る氣象變化も亦極めて尠し。氣象觀測成績を示せば左の如し。

サイパン島月別氣象表 (昭和三年中)

種目	月												全年
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	
氣 壓	五九、五	五九、四	五九、〇	五八、五	五八、二	五八、三	五八、〇	五七、三	五七、六	五八、一	五八、二	五七、七	五七、七
氣 温	二四、五	二四、六	二四、七	二五、七	二六、二	二六、六	二六、一	二六、五	二五、七	二五、四	二五、五	二五、一	二五、六
平 均	二六、五	二六、三	二六、三	二六、八	二七、〇	二七、三	二七、三	二七、三	二七、三	二七、五	二七、三	二七、四	二七、三
高 極	三六、五	三六、三	三六、三	三六、八	三七、〇	三七、三	三七、三	三七、三	三七、三	三七、五	三七、三	三七、四	三七、三
低 極	二四、四	二四、七	二四、三	二五、一	二五、六	二五、二	二五、四	二五、七	二五、二	二五、二	二五、二	二五、二	二五、二
濕 度	八、六	八、三	七、九	八、六	八、〇	七、九	八、五、八	八、九	八、〇	八、六	八、三、九	八、四、一	八、三、三
最 多 風 向	東北東	東北東	北東	東	東南東	東南東	東南東	南東	北西	南東	東	東北東	東
風 速 (米/秒)	五、七	四、五	三、六	四、四	五、一	四、五	五、二	三、五	三、七	五、六	五、八	五、八	四、八
雨 量 (耗)	二四、九	一五、四	一三、九	三、四	一七、九	一三、九	四、八	一〇、八	六、三	三、九	一、二	一、五、九	二八、〇、五

種目	氣		雲	日照時數	水蒸氣張力(耗)
	極低	極高			
一月	五七、一	五七、三	七、四	五三	一八、六
二月	五七、三	五七、五	六、九	五七	一八、八
三月	五七、五	五七、七	六、二	五七	一八、三
四月	五七、三	五七、五	六、七	六九	二〇、〇
五月	五七、四	五七、六	六、七	六八	二〇、七
六月	五七、五	五七、七	六、二	五五	二〇、五
七月	五七、七	五七、九	八、一	四四	二〇、四
八月	五七、六	五七、八	八、六	三三	二〇、三
九月	五七、七	五七、九	九、四	三五	二〇、三
十月	五七、八	五八、〇	八、〇	五五	二〇、三
十一月	五七、九	五八、一	六、〇	五五	一九、九
十二月	五七、〇	五七、二	五、八	五五	二〇、二
全年	五七、〇	五七、二	七、二	五五	二〇、二

ヤツブ島月別氣象表 (昭和三年中)

種目	氣		雲	日照時數	水蒸氣張力(耗)
	極低	極高			
一月	五七、一	五七、三	七、四	五三	一八、六
二月	五七、三	五七、五	六、九	五七	一八、八
三月	五七、五	五七、七	六、二	五七	一八、三
四月	五七、三	五七、五	六、七	六九	二〇、〇
五月	五七、四	五七、六	六、七	六八	二〇、七
六月	五七、五	五七、七	六、二	五五	二〇、五
七月	五七、七	五七、九	八、一	四四	二〇、四
八月	五七、六	五七、八	八、六	三三	二〇、三
九月	五七、七	五七、九	九、四	三五	二〇、三
十月	五七、八	五八、〇	八、〇	五五	二〇、三
十一月	五七、九	五八、一	六、〇	五五	一九、九
十二月	五七、〇	五七、二	五、八	五五	二〇、二
全年	五七、〇	五七、二	七、二	五五	二〇、二

バラオ島月別氣象表 (昭和三年中)

種目	氣		雲	日照時數	水蒸氣張力(耗)
	極低	極高			
一月	五七、一	五七、三	七、四	五三	一八、六
二月	五七、三	五七、五	六、九	五七	一八、八
三月	五七、五	五七、七	六、二	五七	一八、三
四月	五七、三	五七、五	六、七	六九	二〇、〇
五月	五七、四	五七、六	六、七	六八	二〇、七
六月	五七、五	五七、七	六、二	五五	二〇、五
七月	五七、七	五七、九	八、一	四四	二〇、四
八月	五七、六	五七、八	八、六	三三	二〇、三
九月	五七、七	五七、九	九、四	三五	二〇、三
十月	五七、八	五八、〇	八、〇	五五	二〇、三
十一月	五七、九	五八、一	六、〇	五五	一九、九
十二月	五七、〇	五七、二	五、八	五五	二〇、二
全年	五七、〇	五七、二	七、二	五五	二〇、二

トラツク島月別氣象表 (昭和三年中)

種目	氣		雲	日照時數	水蒸氣張力(耗)
	極低	極高			
一月	五七、一	五七、三	七、四	五三	一八、六
二月	五七、三	五七、五	六、九	五七	一八、八
三月	五七、五	五七、七	六、二	五七	一八、三
四月	五七、三	五七、五	六、七	六九	二〇、〇
五月	五七、四	五七、六	六、七	六八	二〇、七
六月	五七、五	五七、七	六、二	五五	二〇、五
七月	五七、七	五七、九	八、一	四四	二〇、四
八月	五七、六	五七、八	八、六	三三	二〇、三
九月	五七、七	五七、九	九、四	三五	二〇、三
十月	五七、八	五八、〇	八、〇	五五	二〇、三
十一月	五七、九	五八、一	六、〇	五五	一九、九
十二月	五七、〇	五七、二	五、八	五五	二〇、二
全年	五七、〇	五七、二	七、二	五五	二〇、二

雲	量	(0-10)	六、三	六、七	六、九	七、〇	七、四	七、五	八、〇	六、六	五、七	七、〇	四、〇	—	—
---	---	--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---	---

ボナヘ島月別氣象表 (昭和三年中)

種目	月	氣温			風速	風向	最多風向	雨	雲	日照時數	水蒸氣張力
		低	高	平均							
一月	一月	五、六	五、六	五、九	三、七	北東	北東	三、七	五、三	三、〇	
二月	二月	五、六	五、六	五、九	三、七	東	東	三、七	五、三	三、〇	
三月	三月	五、九	五、九	六、二	三、一	東	東	三、一	四、三	三、〇	
四月	四月	五、六	五、六	五、九	三、一	東	東	三、一	六、八	三、三	
五月	五月	五、〇	五、〇	五、三	一、八	東南東	東南東	一、八	五、五	三、二	
六月	六月	五、九	五、九	六、二	一、八	東	東	一、八	五、一	三、三	
七月	七月	五、一	五、一	五、四	一、五	東南	東南	一、五	六、三	三、四	
八月	八月	五、七	五、七	六、〇	一、三	東南々	東南々	一、三	四、七	三、六	
九月	九月	五、〇	五、〇	五、三	一、三	東南々	東南々	一、三	四、八	三、八	
十月	十月	五、九	五、九	六、二	一、四	東南々	東南々	一、四	五、六	三、一	
十一月	十一月	五、四	五、四	五、七	一、九	東南々	東南々	一、九	—	三、四	
十二月	十二月	五、七	五、七	六、〇	三、〇	東	東	三、〇	—	三、四	
全年	全年	五、六	五、六	五、九	二、四	東	東	二、四	—	三、一	

ヤルート島月別氣象表 (昭和三年中)

種目	月	氣温			風速	風向	最多風向	雨	雲
		低	高	平均					
一月	一月	五、四	五、四	五、七	三、七	北東	北東	三、七	五、三
二月	二月	五、三	五、三	五、六	三、七	東	東	三、七	五、三
三月	三月	五、七	五、七	六、〇	三、一	東	東	三、一	四、三
四月	四月	五、四	五、四	五、七	三、一	東	東	三、一	六、八
五月	五月	五、一	五、一	五、四	一、八	東南東	東南東	一、八	五、五
六月	六月	五、五	五、五	五、八	一、八	東	東	一、八	五、一
七月	七月	五、三	五、三	五、六	一、五	東南	東南	一、五	六、三
八月	八月	五、四	五、四	五、七	一、三	東南々	東南々	一、三	四、七
九月	九月	五、一	五、一	五、四	一、三	東南々	東南々	一、三	四、八
十月	十月	五、四	五、四	五、七	一、四	東南々	東南々	一、四	五、六
十一月	十一月	五、一	五、一	五、四	一、九	東南々	東南々	一、九	—
十二月	十二月	五、八	五、八	六、一	三、〇	東	東	三、〇	—
全年	全年	五、五	五、五	五、八	二、四	東	東	二、四	—

備考 サイパン観測所海拔 二〇六米突
 表中氣壓は海面に更正したる値を記載し、ヤツブ、トラツク、ヤルート島は日本中央標準時午前六時一回観測に據れり、従つて其の氣温平均は最高最低氣温の平均なり。

○人種

一四

各群島に於ける土人の種族に關しては、所説區々にして一定せず、或は馬來半島より東遷せしと傳へ、或は東方「ポリネシア」人の西進したるものと稱す、各群島土人の言語、風俗及習慣の相異なる點より察するに、極めて錯雜せる人種なるべきは想像するに難からず、之を概別して「チャモロ」「カナカ」の二種族とす。

「チャモロ」族は性溫順勤勉にして、其の容貌風姿稍「カナカ」族に勝る、衣食住も亦比較的進歩したるものありて「カナカ」族とは此等の點に於て、殆ど其の趣を異にせり、其の上流の者に在りては洋風清楚の住宅を有し、居常洋装をなし、中にはピアノの如き樂器を備へ、寛活なる文化的生活を營む者尠からず、之れ一つは其の種族に因るべきも、其の多くは西班牙領時代より、久しく宗教の感化を受けたるに因を爲せるものと認めらる。

「カナカ」族は概して性溫順にして快活なり、然れども徒に天惠の餘澤に享樂し、極めて懶惰にして勞働を嫌ひ且つ活淡にして事物に就き研究執着なき弊あり、文化の程度亦低く、其の居常尙未だ原始的狀態を脱せざる者多し。

「カナカ」族は其の數に於て「チャモロ」族の約十六倍に達し、群島を通じて土人の數四萬九千の内

約四萬六千は「カナカ」族之を占む。(以下土人を島民と稱す)

○風俗

一六

言語——言語は主として各群島の主要島を中心とし、各特種の言語を有し相通せず。

邦語——占領以來約十年間、島民學校又は公學校に於て、一般島民兒童に教育を施し來りたるを以て、今や其の卒業生本科五千二百三十七人補習科千五百四十四人（昭和四年四月調）を算す、之等卒業生は大體各島に遍きを以て、今日に於ては、群島の大部分は、邦語を以て略一般に便するを得るの状況なり、他に西班牙語、英語又は獨逸語を解する者稀ならず。

衣服——「チャモロ」族及東部「カナカ」族の一部分の外、概して裸體（褌、腰卷等を用ふ）跣足なるも文化の風潮は先づ形式的に彼等の居常に及び、裝身の風漸次進化するを認めらる、殊に帝國の統治に歸してより漸次著衣する者の數増加するの傾向あり。

「カロリン」群島には裸體の者多く、「マリーシャル」、「マリアナ」群島には著衣の者多し、之れ蓋し「マリーシャル」群島は往古より歐洲人に接觸するの機多かりしと、宗教の感化を受くること久しかりしとに因り、「マリアナ」群島は多くは「チャモロ」族なるに因れり、同一群島中と雖歐洲人及邦人の教化の及不及の如何に由り、亦多少の差異無きに非らざるも、著衣は凡て男女共洋風にして、男子はシャツの下に半袴を穿ち、女子は更紗金巾等にて作れる西洋婦人の寢衣様のものを用ふるを普通とす。

下層の島民は殆ど寢具を用ゐず、一般に林投樹カコヤの葉を以て編みたる敷物を敷き、座臥飲食凡て此の上
に於てす、未開人種の常としては古來より文身、裂耳、耳環、腕環、脚環、頸飾、彩身等に依り身體
に裝飾を爲すの風習あるも、教育及宗教の感化に依り漸次斯かる惡風は減少しつゝあり。

食物——天恵に裕なる本群島は、食物を得るに頗る簡易なるを以て、少數の上流者を除き多くは主食
として野生の植物を用ひ、間々漁獲したる魚介に簡單なる調理を加へて食す、主食物の種類は麵麴樹
椰子樹等の果實、タロ芋（里芋の類）、ヤム芋（山芋の類）、甘藷、タビオカ等にして、地方に依りて
はボーイ（南洋栗）、玉蜀黍を食す。最近に至りては、米を食する者次第に多きを加ふるの傾向あり
牛、豚、山羊、鶏、鳩、犬等の鳥獸肉、蟹、シヤコ貝其の他魚類及蜜柑、「バインアツブル」、「マンゴ
ー」、「バナナ」、「ババイヤ」等の果實は彼等の好んで食する所なり。

其の他島民の最も嗜好するものは酒、煙草及檳榔子なり、島民の飲酒は往々兇暴を逞しうするの動機
となる虞あり且つ衛生上の必要より之を禁止せり。

飲料水は概して雨水又は椰子の實より之を得るも、中には溪流又は井水に頼るもの無きに非ず。

住居——衣食既に單純にして原始的なるが如く、住居も亦一般に粗雑にして簡單なり、家屋は其の構
造に於て群島各其の特色を現はせり、西「カロリン」群島の諸島は稍進歩せる構造を有し、殊にバラ
オ諸島の家屋に在りては堅牢にして床上高く採光通風等に多少の考慮を拂へるものあるを認めらる、

一七

職業別	農 業		水 産 業		鑛 業	
	内地人	朝鮮人	内地人	朝鮮人		
支應別	男	女	男	女	男	女
サイパン支應管内	四、五二九	一、四三八	一、〇七四	四七四		
ヤップ支應管内	二、二二一					
パラオ支應管内	一、四九三				五九七	五六七
トラツク支應管内	一、二〇〇			四九八		
ボナベ支應管内	一、三三八					
ヤルット支應管内						
計	二四、七〇六	一五、三三三	二八、九二一	一〇、九二一	五九七	五六七

職業別人口 (昭和四年十月一日現在)

合 計	外 國 人					
	英	米	佛	獨	西	其 他
一、八〇一						
一、一三三						
二、六七四						
一、四三五						
一、六二七						
九、二五五						

支應別	邦 人		島 民
	内地人	朝鮮人	
サイパン支應管内	三、一五〇	四二	一三〇
ヤップ支應管内	九一		三七一
パラオ支應管内	六二		一〇八
トラツク支應管内	一六八		二、六七三
ボナベ支應管内	二二二		一、四二九
ヤルット支應管内	一四四		一、六二七
計	四、三九七	五四	八、七三八

數 (昭和四年十月一日現在)

支應別	人 口	面 積	一方里人口密度
サイパン支應管内	一六、五九六	四一・四三	四〇〇・五
ヤップ支應管内	六、七九九	一四・六四	四六四・四
パラオ支應管内	七、八七二	三一・〇〇	二五三・九
トラツク支應管内	一五、四二五	八・五五	一、八〇四・〇
ボナベ支應管内	八、五五一	三二・六五	二六一・八
ヤルット支應管内	九、六七八	一一・〇五	八七五・八
全 群 島	六四、九二一	一三九・三二	四六五・九

年齢別	支應別	支應管内	支應管外	計
一	一	五五〇	一	五五〇
二	二	四四八	一	四四九
三	三	三三七	一	三三八
四	四	二二二	一	二二三
五	五	一四五	一	一四六
六	六	〇一〇	一	〇一一
七	七	二五	一	二六
計	計	一、〇七三	七	一、〇八〇

(二) 島民

年齢別	支應別	支應管内	支應管外	計
一	一	八、一三一	一	八、一三二
二	二	四、六六三	一	四、六六四
三	三	一、七九一	一	一、七九二
四	四	二、七九一	一	二、七九二
五	五	一、四三三	一	一、四三四
六	六	一、二二二	一	一、二二三
七	七	一、一三三	一	一、一三四
計	計	二、七九四	七	二、八〇一

年齢別	支應別	支應管内	支應管外	計
一	一	一、六五七	一	一、六五八
二	二	一、三九八	一	一、三九九
三	三	一、二二三	一	一、二二四
四	四	一、一三三	一	一、一三四
五	五	一、二二二	一	一、二二三
六	六	一、一三三	一	一、一三四
七	七	一、一三三	一	一、一三四
計	計	六、六六三	七	六、六七〇

(一) 邦人

年齢別人口 (昭和四年十月一日現在)

年齢別	支應別	支應管内	支應管外	計
一	一	二、四八	一	二、四九
二	二	一、四八	一	一、四九
三	三	一、四八	一	一、四九
四	四	一、四八	一	一、四九
五	五	一、四八	一	一、四九
六	六	一、四八	一	一、四九
七	七	一、四八	一	一、四九
計	計	一、四八	七	一、四九

合	樺太	臺灣	朝鮮	沖繩	九州區					四國區			中國區					
					鹿兒島縣	宮崎縣	大分縣	熊本縣	長崎縣	佐賀縣	福岡縣	高知縣	愛媛縣	香川縣	德島縣	山口縣	廣島縣	岡山縣
一二、七九四			一五三	七、七五四	七八一	三四	四三	五四	四三	九二	二〇一	二〇	三四	四	二八	九四	六九	一一
二四五			二	一六	九	六	四	〇	七	一四	一五	一	八					五
一、八一五	三	一	一二	三四七	六七	二三	三二	七一	三六	二四	一八	六	〇	〇	八	二八	四三	〇
四三七			四	一〇五	一六	六	三	一	七	一七	一三	二	二	三	六	二	七	二
六〇八			八	五一	三六	三	七	三五	六	二一	二三	五	〇	五		八	四	〇
三五																		
三〇三				一六	五	八	九	一六	一三	〇	一三	一	一	三		三	三	一
一六、二〇二	三	二	一七九	八、二八九	九一四	八〇	九八	一九七	一一二	一七八	三八三	四五	八五	二五	四二	一五五	一六九	三五

近畿區					東海區			東山區			北陸區			神奈川縣	東京府	千葉縣						
鳥取縣	島根縣	和歌山縣	奈良縣	兵庫縣	京都府	大阪府	滋賀縣	三重縣	愛知縣	靜岡縣	岐阜縣	長野縣	山梨縣				福島縣	石川縣	富山縣	新潟縣		
二二	二	四	一	三九	二	二	九	三五	三八	五八	二六	三五	三	三〇	一	三	五一	七二	一、五三八	三九		
一四		四	一	四		二	九	九	八		三	一	九	九	五	一	〇	〇	〇	〇	〇	
三四	三	六	一	八	二	二	三	一	六	四	八	四	八	三	九	一	三	一	三	四	四	〇
一八	三		三	一	六		一	一	七		一	四	三	一	一	〇	二	五	三	七	五	
一六	四	六	九	五	七		一	八	一	三		二	〇	二	九	三	一	九	三	一	〇	三
四六	〇		九	〇	四	一	三	五	九	六	二	一	五	六	八	九	二	二	六	二	二	
一五〇	七	七	二九	九五	五四	四二	二三	一四	〇	一	八九	四	一	〇	三	一	九五	七五	二九	一八	一、八一五	一一九

年齢別	支應別	サイパン	ヤップ	パラオ	トラツグ	ボナベ	ヤルイト	計
一	五	四五						四五
六	〇							
一一	一五							
一六	二〇							
二一	二五							
二六	三〇							
三一	三五							
三六	四〇							
四一	四五							
四六	五〇							
五一	五五							
五六	六〇							
六一	六五							
計		四七九						四七九

三七

(一) 邦人
死亡者年齢別
(昭和三年中)

種別	支應別	サイパン	ヤップ	パラオ	トラツグ	ボナベ	ヤルイト	計
死亡	邦人	五八三	一一	四二	一三	一三	一四	六〇
	島民	三三八	九八	四三	八〇	六七	八六	九六
計		九二一	一〇九	八五	八九	八〇	九〇	一〇一〇
出生	邦人	二〇一	二五	〇一	〇七	七二	四六	二二七
	島民	七七八	四〇	九四	五二	八〇	八九	一〇〇九
計		二七九	六五	九五	五九	一五二	一三〇	五〇七

出生、死亡
(自昭和二年九月)

三六

九一	八六	八一	七六	七一	六六	六一	五六	五一	四六	四一	三六	三一	二六
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
九五	九〇	八五	八〇	七五	七〇	六五	六〇	五五	五〇	四五	四〇	三五	三〇
女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男	女男

|| || |— 二三 || — — 三二 || — 二二 — 二 三三 二一 |—

|| || 二| 二| 五三 三四 四七 四一 四八 三六 二〇 七六 二四 四二

|| || ||. || || |— 三 七一 五二 三三 五三 二二 一六 二四 四一

|| || || || || || |— 八五 五九 七一 三一 一〇 九二 三二 四一

|| || |— || — — 一四 三六 一二 四三 五〇 四五 三三 三一 〇二

|| || || 三二 二一 七二 三三 四九 |七 〇八 三五 六九 |五 五二

|| || 二二 七五 八五 — 三三 三三 二二 二四 三三 二二 四二 三一

二一	一六	一一	六	一
—	—	—	—	—
二五	二〇	一五	一〇	五
女男	女男	女男	女男	女男

六三 三| 四二 — | 二二 二四

三六 一九 一二 — 一 四二

四五 四四 | 四 | | 四六

八七 六二 五六 五二 五六 三六

六二 一七 二四 六九 〇七

四五 二二 二一 |— 九二

三二 一三 一二 二二 一一 四八 一八 七五 四九 三三 二七

備考 括弧内数字ハ外国人死亡者ノ外数ナリ。

八六	八一	七六	七一	六六
—	—	—	—	—
九〇	八五	八〇	七五	七〇
計女男	女男	女男	女男	女男

計 一 一 一 一 一
九七 一 一 一 一
一五六 一 一 一 一

二一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

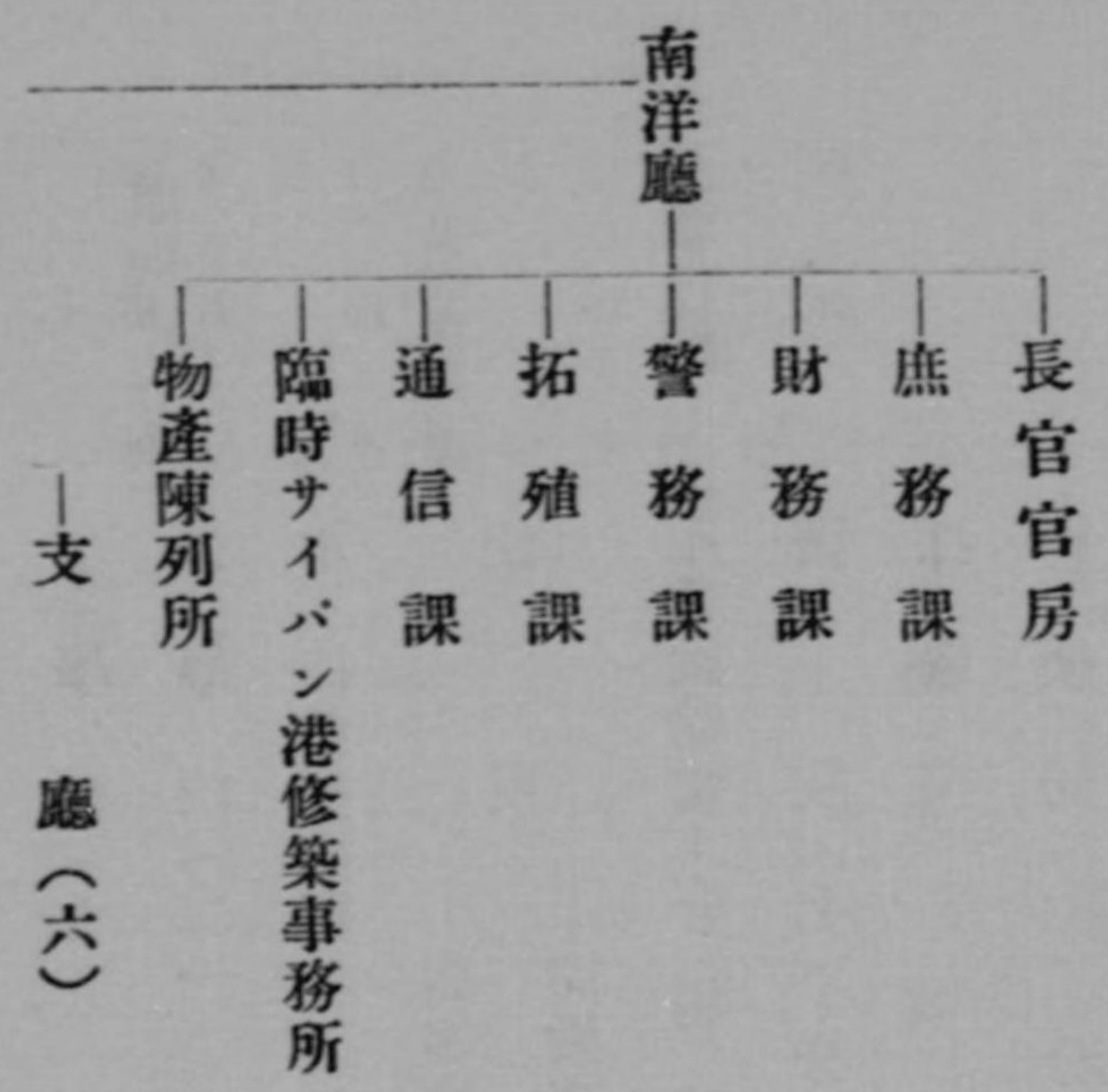
三 三 一 一 一 一 一 一 一 一

〇七 三 一 一 一 一 一 一 一 一

七 三 四 一 一 〇 一 一 一 一 一

八二 六 一 一 一 一 一 一 一 一

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇
三八 四 一 一 一 一 一 一 一 一
一八 三 一 一 一 一 一 一 一 一



設置年月日 大正十一年四月一日
 所在地 南洋群島西「カロリン」群島「バラオ」諸島「コロール」島
 行政系統 大正十三年十二月二十五日官制改正

○南洋廳

計	無職業		家事使用人		其他ノ有業者	
	去 計 女男	來 計 女男	去 女男	來 女男	去 女男	來 女男
一一	五	五				
三一	二	一	一			
	二	二				
一一	一	五	一	四		
四	四	七	二	五		
四	四	一	一			
一一	二	一	一	一		
三二	一	八	三			

○土地

本群島の總面積約百四十平方里即ち約二十二萬町步にして、内農耕適地又は椰子林適地として、推定約七萬町步を算せらる、然るに既に開墾せられたる農耕地としては約一萬二千三百町步、椰子林としては約二萬七千八百町步、計四萬二千町步にして、猶二萬九千七百餘町步の土地は將來に向つて經濟的利用の時機を俟てり。

官有土地貸下面積

支應管區	宅地	畑	森林	原野	椰子林	雜種地	牧場	計
サイバン	六・八 ^{町步}	八、三五 ^{町步}	—	〇・八 ^{町步}	一、三五 ^{町步}	〇・二 ^{町步}	五七 ^{町步}	一〇、二七 ^{町步}
ヤッ	〇・八	—	—	〇・四	—	〇・三	—	〇・一四
パ	二・五	二六・三	二〇・三	二・三	二七・八	〇・三	五五・〇	九六・〇
トラ	二・三	〇・三	一六・〇	〇・四	一・六	〇・一	—	一〇・一
ボ	〇・四	二・七	二二・〇	〇・四	三・五	〇・八	—	二六・三
ナル	二・五	—	—	〇・五	二・六	〇・四	—	六・〇
計	一三・五	八、五〇	二四・六	三・六	一、六六	一・二	一、〇七	二、五四

○農業

島民の農業状態は頗る原始的にして、玉蜀黍、甘藷、タビオカ、薯蕷、甘蔗、麵粉果、鳳梨、バナナ密柑等を頗る粗放的寧ろ放任的に植栽せり従つて其の收量も少なく品質も亦劣れり。近時邦人の増加と農業上の施設とは島民の啓發並に生活の向上と相俟つて著しく開拓を誘發しつゝあり。

本群島の畜産は頗る幼稚の域を脱せず従つて其の飼養管理の方法も見るべきものなし。牛は主としてサイバン支應管内に多く役牛にして、豚は島民好んで之が飼養を爲し管内畜産の最たるものなり。鶏は肉用卵用として豚に次ぐ重要なものなるが從來放飼の状態にあり産卵率も著しく少し。

耕地面積

(椰子林面積を含まず)

支應管區	田	畑	計
サイ	一、〇〇	八、九七	八、九七
ヤ	一、二一	一、〇七	二、二八
パ	一九八	一三一	三二九
ト	五九	二六三	三二二
計	—	—	—

品名	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)	数量(石)	金額(圓)
米	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
玉蜀	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
豆	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
落花生	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
甘藷	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
芋	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
里芋	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
タビオ	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
西瓜	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
南瓜	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
胡瓜	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
越瓜	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
甜瓜	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五
計	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五	二、七五七	八〇五

五二

支離管區	戸數	男	女	計
サ	一、五七一	一、八七一	一、八一	三、六八二
ヤ	一、七九六	三、〇九〇	三、四〇三	六、四九三
バ	一、〇二四	三、〇四四	二、五九三	五、六三七
ト	二、五六二	七、二八八	七、〇七三	一四、三六一
ボ	一、二六四	四、一五八	三、四六三	七、六二一
ハ	一、二六四	四、一五八	三、四六三	七、六二一
ヤ	一、二六四	四、一五八	三、四六三	七、六二一
計	八、三三八	二二、七七三	二〇、一九四	四二、九六七

農産物

農業戸數

支離管區	戸數	男	女	計
ヤ	一、〇〇〇	四六六	〇五九	五二五
ボ	一、四七九	一〇、九〇六	六、五二二	一七、四二八
計	二、四七九	一一、三七二	六、五八一	一九、九五三

○糖業

製糖業は本群島主要産業の一にして大正六年「サイバン」島に於て西村拓殖株式會社及南洋殖産株式會社の二社の創業に始まり大正十年十二月新に資本金三百萬圓の南洋興發株式會社創立せられ前記二社の事業を繼承し今日に及べり。

現在甘蔗の栽培せらるゝは「サイバン」島及「テニアン」島にして「サイバン」島に於ける同社の製糖能力は千二百英噸の分蜜製糖機一基一晝夜約百二十萬斤の甘蔗を壓搾し得。而して「テニアン」島に於ては既に製糖工場を設置し昭和四年期より製糖を開始する豫定なり。作付面積及産糖高を示せば左の如し。

甘蔗作付面積及産糖高

年次	作付面積	産糖高	備考
大正 八—九年	四五九〇〇	七五五、五九九 _斤	白下糖及赤糖
同 九—十年	五三九三六	一、九五六、〇〇三	同
同 十—十一年	八三二一五	三五八、六〇〇	同
同 十一—十二年	一、六七六五〇	二、〇九六、四〇〇	分蜜糖(黄双)
同 十二—十三年	二、一七二五〇	五、八三七、八〇〇	同

同 十三—十四年	二、五一七三〇	一四、八九五、四〇〇	同
同 十四—十五年	二、七五六九六	一五、二六五、八八〇	同
同 十五—昭和二年	二、九六七八四	二〇、一九三、九六〇	同
昭和 二—三年	三、二二六七七	一七、二八〇、三七〇	同
同 三—四年	三、三一七一一	一六、四二三、四〇〇	同

○ 林 業

海岸低地にありては椰子樹、紅樹(マングローブ)は至る所に繁茂し蒼鬱たる林相を現すもの少からず。椰子は本群島に於ては林産として首位を占むると共に又食料、飲料として島民の日常缺く可からざるものなるのみならず、其の果核中の仁肉を乾燥したるものは、即ち「コブラ」にして本群島の移出品中の主なるものなり。本群島より本邦に移出する年額凡そ一萬噸、此の金額二百萬圓に上れり。林産物としては其の他象牙椰子、紅樹、鐵木、「ウカル」、「タマナ」、「マンゴー」等あり。

林野産物

用材	薪炭	木炭	其他	價額計		
材	材	炭	他	計		
價額	價額	價額	價額	價額		
(圓)	(圓)	(圓)	(圓)	(圓)		
サイパン	ヤップ	バラオ	トラツク	ボナバ	ヤルット	計
三、五〇五	一、四七五	二、六二二	二、四四五	一、三〇三	一、三〇〇	八、四九九
一〇、六三四	一、二四二	八〇〇	四、〇四三	六八八	一、二〇〇	一八、六三三
二、八〇〇		一、〇九〇	一、一六五	三〇〇	三、三〇〇	一四、三〇五
三、九三三		五四五	六九九	一五〇	三、三〇〇	三七、〇五五
三三四、五三八	八七〇	一五〇、六〇〇	七八、五三三	二五、八五〇	一、五〇〇	四九三、八七五
四六、九〇五	一七二	五三、七〇〇	一五、七〇五	五、九四五	一、五〇〇	一三三、九三六
一、〇四〇					二、〇〇〇	四九三、八七五
四、二六五					一、二〇〇	一三三、九三六
九四、二八六	一、四三三	五四、〇七五	三〇、四四六	六、五七八	七、二六〇	一八四、〇七

椰 子

支産管區	椰子林面積	果實生産數	コ	ブ	ラ
サ	二、一一二	三、七三七、一一〇	七一八		一、二〇〇
ヤ	三、一〇七	一〇、四一〇、七二〇	三二〇		四四、三三五
バ	一、一〇八	二、六四〇、四〇〇	三〇四		四九、八九九
ト	三、九一二	一〇、六二九、七六〇	一、八〇五		二六四、〇八二
ボ	五、七四八	二一、六三一、〇四〇	二、三五五		三二七、五九四
ナ	一一、八四六	七五、一〇四、〇〇〇	四、八三八		六〇四、五〇八
ル	二七、八三三	一二四、一五三、〇四〇	一〇、三四〇		一、四一〇、四三四
計					

○ 鑛 業

鑛産として見るべきものは、唯燐鑛あるのみ、「アングウル」島の燐鑛は目下南洋廳の官營に屬し、其の蓄積量約二百四十萬噸と推定せられ年産額約六萬噸、此の金額百餘萬圓に上れり、「アングウル」島の外燐鑛の蓄積を有する島嶼に「ベリリユー」島「ファイヌ」島「トコペー」島等あるも其の埋藏量僅少なり。

「アングウル」島の燐鑛は西曆一九〇三年（明治三十六年）獨逸探險隊に依り初めて發見せられたるものにして現今は南洋廳採鑛所を置き、所長（技師）の外技手二人書記三人を以て其の業に當れり。昭和三年末現在の使役雇傭人並に職工鑛夫數左の如し。

雇 員 六 人 備 人 八 人 職工鑛夫 四六〇人

燐鑛（精鑛）移出累年表

年 度	數 量	價 額
大正六年度	四七、五〇五噸	一、一三二、一三一圓
大正七年度	五六、六九九	六九〇、八一〇
大正八年度	七三、六八五	一、四一九、七一八
大正九年度	五五、五五二	一、〇三九、九九七
大正十年度	五四、八六八	一、四七七、九一〇
大正十一年度	五六、三〇〇	一、〇一九、八九七
大正十二年度	五九、九八七	一、〇四九、七七二
大正十三年度	六〇、六五七	一、〇九七、八九一
大正十四年度	六五、八六四	一、三二〇、五七三
大正十五年度	六二、九一二	一、二九九、一三二
昭和元年度	六三、一二八	一、三三五、一五七
昭和二年度	六四、三二六	一、三八六、二二五

(三) 其ノ他ノ水産物

品名	数量	単価	金額
海鼠	数量(貫)		二、八〇〇
玳瑁	数量(頭)		二、四六〇
真珠	数量(個)		三、〇〇〇
其ノ他	金額(圓)		九、〇〇〇?
計			三、三三〇

(四) 水産製造物

品名	数量	単価	金額
海參	数量(貫)		四、八五八
鮪節	数量(貫)		三、六八八
鯨節	数量(貫)		五、九六六
鱈節	数量(貫)		一、六〇〇
其ノ他	金額(圓)		二、九〇八
計			二、九〇八

〇工業

工業としては「サイパン」島の製糖工業、之に附帯する酒精、糖酎製造及少量の清涼飲料製造等あるの外唯僅に各島に於て行はるゝ手工業あるのみにして何等工業として特記すべきものなし。

工業物

品名	数量	単価	金額
砂糖	数量(擔)		一、七六、七七
非酒精飲料	数量(石)		三、八八四、五八
酒精飲料	数量(石)		一、二八二
工業用酒精	数量(石)		三、〇八九
其ノ他	金額(圓)		四、五五〇
計			四、五五〇

手藝品

品名	数量(個)	金額(圓)
サイパン	二六三	一、五七〇
ヤップ	二六	一、〇二〇
パラオ	二〇	一、二二〇
トラツグ	五九	四、六五〇
ボナベ	一、二二	四、六五〇
ヤルット	八五	一、〇二〇
計		七、六六〇
椰子帽子	数量(個)	金額(圓)
林投帽子	数量(個)	金額(圓)
葉織維編製	数量(個)	金額(圓)
品	数量(個)	金額(圓)
葉編製品	数量(個)	金額(圓)
椰子繩	数量(把)	金額(圓)
其他	数量(個)	金額(圓)
計		七、六六〇

酒類醸造高

品名	醸造戸數	石數	金額
其燒酒	一	四、五七二、四〇〇	二〇〇一、一四六
他耐精	三九	一、一四六、三〇八	?
計		七六、一九七	?

(サイパン支應管内以外になし)

工場

工場數	工場主	職工		一年間製造高		製造能率
		男	女	斤	石	
製糖工場	南洋興發株式會社	四六	一	二〇、二五五、九六〇	三、六四六、〇七二	
酒精工場	南洋興發株式會社	三	一	七、四〇〇	四〇六、四三〇	
製氷工場	南洋興發株式會社	一	一	七、二〇〇	二、一六〇	
清涼飲料製造所	坪野工場	一	一	五、四〇〇	八、〇〇〇	
計		五一	二	四、一三五、六六二		

備考 製造高數量と別表工產物數量と符合せざるは本表は一ヶ年間製造能率の數量なるに因る。

計

一三

五、七九四、九〇五

(サイパン支應管内以外になし)

大工(日)	島民										全上(鮓)	全上(鮓)			
	下女	下男	日夫	探工	製工	鍛工	木挽	石工	左官	船工			大工		
	一五〇〇	二五〇〇	一五〇〇				二二〇〇	二二五〇	四〇〇〇	二二五〇	三三〇〇	四〇〇〇	三三〇〇	〇、二五	〇、二五
	〇、五〇		一、五〇					五、〇〇			四、〇〇				
	一、八五	二五〇〇	六〇〇〇	三、〇〇	三、七〇		四、五〇	四、五〇		五、〇〇	五、〇〇	四、〇〇		〇、一五	〇、二〇
	一、六〇	二五〇〇	三、〇〇				五、〇〇	五、〇〇	六、〇〇	五、〇〇	五、〇〇			〇、一五	〇、二五
七一	三、五〇		三、〇〇				五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇			〇、五〇	
	五、〇〇										五、〇〇	五、〇〇		〇、一三	〇、二九

生砂	食胡	馬鈴	甘玉	薪木	豆	サ	麥	清	練	醬	味	鶏	豚	牛	梅	澤	鯉	素			
魚(鹽) 百匁	糖(三盆白) 斤	鹽 百匁	瓜 匁	薯 匁	藷 匁	葱 匁	炭 貫	腐 丁	酒 匁	酒(四合入) 本	乳(上) 升	油(上) 百匁	増(白) 匁	卵 匁	肉(上) 匁	肉(上) 匁	干(上) 匁	庵 匁	節(本節) 匁	麵 百匁	
〇、一五	〇、二八	〇、〇七	〇、五五	〇、六〇	〇、二〇	〇、七〇	〇、一五	〇、一〇	〇、二五	〇、四五	〇、八〇	〇、五五	〇、七五	〇、一三	〇、〇八	〇、五五	〇、三五	〇、三〇	〇、一五	一、五〇	〇、一三
	〇、三二	〇、〇七	〇、一六	〇、六〇	〇、二〇	〇、七〇	〇、二五	〇、一五	〇、二五	〇、四六	〇、八五	〇、四八	一、二〇	〇、一三	〇、〇二	〇、二〇	〇、三〇	〇、四〇	〇、一〇	二、〇〇	〇、一六
〇、二〇	〇、三二	〇、〇五	〇、三七	〇、七〇	〇、三五	〇、七五	〇、一三	〇、二五	〇、一〇	〇、二七	〇、八八	〇、五〇	一、〇〇	〇、一五	〇、一〇	〇、七〇	〇、六〇	〇、三五	〇、一五	一、二〇	〇、一七
〇、二五	〇、三四	〇、〇八	一、〇〇	一、〇〇	〇、三五	一、〇〇	〇、二八	〇、一〇	〇、三〇	〇、五〇	〇、九五	〇、五〇	一、二五	〇、一九	〇、一〇	〇、三〇	〇、三七	〇、七〇	〇、一八	〇、一九	
〇、五〇		〇、一〇	〇、七五	一、〇〇	一、五〇	〇、〇八	〇、三〇	〇、一〇	〇、二五	〇、五五	〇、九五	一、三〇	〇、一三	〇、〇七	〇、三〇	〇、三五	〇、五五	〇、一八	〇、一〇	二、〇〇	〇、二〇
	〇、三四	〇、〇八		一、八五	一、九二		〇、三五	〇、一〇	〇、二二	〇、五五	一、一〇	〇、四七	一、〇七	〇、〇八	〇、四五	〇、三五		二、五〇			

七〇

船大工	木挽工	鍛冶工	探鑛工	鑛夫	日備人	下男	下女
1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
1,850	2,250	2,230	2,400	2,400	2,000	2,000	2,000
1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000

七二

○ 貿 易

移輸出貨物の主なるものは燐鑛、「コブラ」、砂糖及酒精にして四者を合し移輸出總額の約九十四「パーセント」を占む、其他群島特産たる高瀬貝、海參等あるも其の額大ならず。

移輸入貨物の主なるものは米穀其他飲食物、布帛及布帛製品、衣類及同附屬品、金屬製品、木材及木製品等にして是等を合するときは移輸入總額の約六十九「パーセント」を占む。

本群島に於ける開港場は「サイバン」「バラオ」「アンガウル」「トラッタ」「ヤルット」の五港にして「アンガウル」港は輸入貨物に付制限を附せり。

移輸出品の殆ど全部は日本内地に移出するものにして外國に輸出するものとしては「サイバン」島より米領「グアム」島に、「ヤルット」島より英領「ギルバート」島に少許の雜貨類を輸出するに過ぎず。

移輸入品の殆ど全部は日本内地より移入するものにして外國より輸入するものとしては瓜哇より砂糖蘭領「セレベス」島「メナド」、英領「ギルバート」及米領「グアム」島等より「コブラ」雜貨等少許の輸入あるのみなり。

移出物品 (昭和三年中)

品目	支離別	サバツ	ヤツ	バラ	トラツ	ガチ	ヤカート	計
I 植物及動物種			547			1,750		2,305
II 穀物・澱粉類及種子						14,420	1,714	16,134
1 麦								
2 小麦						13,700	1,714	13,700
3 其他						720	1,573	2,434
III 食物及標						3,660		4,019,685
1 蔬菜・果實及核						704		7,259
2 蔬菜							141	3,916,297
3 砂糖								28,995
4 海酒						2,216		19,628
5 酒精						510		18,458
6 非酒精						230		
7 其他						65		65
IV 皮革・骨・角・齒牙・甲殼及其製品								88,273
1 皮革								88,273
2 骨								
3 角								
4 齒牙								
5 甲殼								
6 其他								
V 纖維								75,711
1 羊毛								75,711
2 其他								12,400
VI 染料・顔料・塗料類及填充料								
1 染料								
2 顔料								
3 塗料								
4 填充料								
5 其他								
VII 藥材・化學藥・製藥其ノ調合及爆發藥								
1 藥材								
2 化學藥								
3 製藥								
4 爆發藥								
5 其他								
VIII 油・脂・蠟及其ノ製品								
1 油								
2 脂								
3 蠟								
4 其他								
IX 紙・紙製品・書籍及繪畫								
1 紙								
2 紙製品								
3 書籍								
4 繪畫								
5 其他								
X 織物								
1 織物								
2 其他								
XI 陶磁器硝子及硝子製品								
1 陶磁器								
2 硝子								
3 硝子製品								
XII 金銀及金製品								
1 金								
2 銀								
3 金製品								
XIII 時計・學術器・銃砲・車輛・船舶及機械類								
1 時計								
2 學術器								
3 銃砲								
4 車輛								
5 船舶								
6 機械類								
XIV 雜								
1 雜								
2 其他								

品目	支離別	サバツ	ヤツ	バラ	トラツ	ガチ	ヤカート	計
I 植物及動物種								
II 穀物・澱粉類及種子								
1 麦								
2 小麦								
3 其他								
III 食物及標								
1 蔬菜・果實及核								
2 蔬菜								
3 砂糖								
4 海酒								
5 酒精								
6 非酒精								
7 其他								
IV 皮革・骨・角・齒牙・甲殼及其製品								
1 皮革								
2 骨								
3 角								
4 齒牙								
5 甲殼								
6 其他								
V 纖維								
1 羊毛								
2 其他								
VI 染料・顔料・塗料類及填充料								
1 染料								
2 顔料								
3 塗料								
4 填充料								
5 其他								
VII 藥材・化學藥・製藥其ノ調合及爆發藥								
1 藥材								
2 化學藥								
3 製藥								
4 爆發藥								
5 其他								
VIII 油・脂・蠟及其ノ製品								
1 油								
2 脂								
3 蠟								
4 其他								
IX 紙・紙製品・書籍及繪畫								
1 紙								
2 紙製品								
3 書籍								
4 繪畫								
5 其他								
X 織物								
1 織物								
2 其他								
XI 陶磁器硝子及硝子製品								
1 陶磁器								
2 硝子								
3 硝子製品								
XII 金銀及金製品								
1 金								
2 銀								
3 金製品								
XIII 時計・學術器・銃砲・車輛・船舶及機械類								
1 時計								
2 學術器								
3 銃砲								
4 車輛								
5 船舶								
6 機械類								
XIV 雜								
1 雜								
2 其他								

半長

3 木	65,125	40	50,330	10,599	5,945	132,039
4 其他	63,691	—	457	4,759	110	69,181
合 計	5,080,288	69,045	1,699,654	294,697	471,077	8,540,769

移 入 品 目

(昭和三年中)

品 目	支 配 別	サ イ バ ン	ヤ ツ プ	パ ラ オ	ト ラ ッ ク	ホ ナ ス	ヤ ル ト	計
I 植 物 及 動 物	850	—	2,089	8	20	783	3,750	
II 穀 物 ・ 澱 粉 類 及 種 子	476,921	18,291	142,947	68,326	62,856	87,596	856,937	
1 米	432,105	12,847	115,916	57,212	51,167	59,899	729,146	
2 其 他	44,816	5,444	27,031	11,114	11,689	27,697	127,791	
III 飲 食 物 及 煙 草	398,429	52,076	209,063	110,419	150,848	244,811	1,165,646	
1 蔗 菜 ・ 果 實 及 核 子	3196	3,954	3,278	3,075	14,385	4,565	32,403	
2 澱 粉	9,463	1,615	13,378	4,626	17,005	37,069	83,156	
3 鹽	6,893	181	1,407	714	1,235	678	10,608	
4 酒 精 含 有 飲 料	111,073	9,433	64,481	18,452	36,101	15,460	255,000	
5 果 汁 ・ 礦 水 等 非 酒 精 含 有 飲 料	24,344	1,169	4,813	4,088	10,805	7,169	52,388	
6 煙	75,032	11,916	42,335	23,210	26,846	50,387	229,726	
7 其 他	168,928	23,808	79,371	56,304	44,521	129,483	502,415	
IV 皮 毛 ・ 骨 ・ 角 ・ 齒 牙 ・ 甲 殼 及 其 ノ 製 品	7,930	239	5,600	617	1,880	2,981	19,247	

Y 油 ・ 脂 ・ 蠟 及 其 ノ 製 品	67,579	6,160	85,204	13,876	18,918	61,090	252,827
1 石 油	26,573	2,723	44,759	4,854	9,868	15,968	104,745
2 其 他	41,006	3,437	40,445	9,022	9,050	45,122	148,082
VI 藥 材 ・ 化 學 藥 ・ 製 藥 其 ノ 調 合 及 爆 發 藥	26,873	4,846	17,040	4,105	4,956	3,822	61,642
VII 染 料 ・ 顏 料 ・ 塗 料 類 及 填 充 料	7,559	771	17,544	3,805	4,750	4,441	38,970
VIII 織 物 ・ 繩 索 及 同 類 材 料	40,592	2,055	24,208	7,876	8,586	9,177	92,494
IX 絲 綉 及 同 類 製 品	90,823	9,354	31,230	40,665	59,410	152,312	383,794
X 布 帛 及 同 類 製 品	33,341	5,143	50,363	23,096	41,711	44,523	198,177
XI 衣 類 及 同 類 製 品	32,383	2,989	47,889	2,747	4,763	5,411	96,182
XII 製 紙 用 パルプ 紙 ・ 紙 製 品 ・ 書 籍 及 繪 畫 品	119,002	753	76,129	12,273	1,310	27,819	237,286
XIII 礦 物 及 礦 物 製 品	52,197	360	68,209	6,300	—	24,000	151,066
1 石	66,805	393	7,920	5,973	1,310	3,819	86,220
2 其 他	13,545	1,762	14,942	1,989	4,018	2,008	38,294
XIV 陶 磁 器 ・ 硝 子 及 硝 子 製 品	18,977	2,333	—	203	3,278	17,673	42,464
XV 金 及 金 製 品	152,226	6,888	84,990	18,459	18,333	18,067	298,963
XVI 時 計 ・ 學 術 器 ・ 銃 砲 ・ 車 輛 ・ 船 舶 及 機 械 類	119,384	13,118	28,398	27,321	11,468	22,547	222,236
1 船	—	—	3,800	19,765	1,714	2,050	27,329
2 其 他	119,384	13,118	24,598	7,556	9,754	20,497	194,907
XVII 雜 貨	226,947	8,032	187,517	30,621	49,625	73,108	575,850
1 雜 貨	—	—	—	—	—	—	—
2 木 材 及 木 製 品	114,314	3,893	134,837	9,559	28,663	20,395	311,661
3 炭	—	203	—	—	200	400	803

4	其他	112,633	3,936	52,680	21,062	20,762	52,313	263,386
合	計	1,833,361	134,810	1,025,153	366,406	446,780	778,169	4,584,659

輸 出 品 目 (昭和三年中)

品 目	支 離 別	サ イ バ ン	ヤ ツ プ	パ ラ ナ	ト ラ ッ ク	ホ ナ ヌ	ヤ ル ト	計
I 植 物 及 動 物 子 麻		4,420	—	—	248	—	7,520	12,188
II 穀 物 ・ 穀 粉 ・ 澱 粉 類 及 種 子		—	—	—	—	—	—	—
1 蔗		—	—	—	—	—	—	—
2 フ 4	ポ リ ナ ツ	4,420	—	—	248	—	7,520	12,188
3 其	ノ	—	—	—	20	—	4,675	30,391
III 飲 食 物 及 煙 草		5,686	—	—	—	—	—	20
1 酒		—	—	—	—	—	—	—
2 砂 糖		—	—	—	—	—	1,376	1,376
3 糖 類		—	—	—	—	—	—	—
4 海 酒		—	—	—	—	—	—	—
5 精 酒		—	—	—	—	—	—	—
6 非 精 酒		5,304	—	—	1,075	—	—	6,379
7 其	ノ	382	—	—	18,935	—	2,803	22,120
IV 皮 毛 ・ 骨 ・ 角 ・ 齒 牙 ・ 甲 殼 及 其 ノ 製 品		—	—	—	120	—	16	136

1 藍 高 及 其 製 品		—	—	—	—	—	—	—
2 眞 海 綿		—	—	—	—	—	—	—
3 其	ノ	—	—	—	—	—	—	—
4 油 ・ 脂 ・ 蠟 及 其 ノ 製 品		—	—	—	—	—	—	—
5 藥 材 ・ 化 學 藥 ・ 製 藥 其 ノ 調 合 及 爆 發 藥		—	—	—	—	—	—	—
1 酒	ノ	—	—	—	6,295	—	117	6,412
2 其	ノ	—	—	—	—	—	227	227
III 染 料 ・ 顏 料 ・ 塗 料 類 及 填 充 料		—	—	—	—	—	1,053	1,053
IV 絲 織 物 ・ 繩 索 及 同 材 料		—	—	—	—	—	—	—
1 總	ノ	—	—	—	—	—	—	—
2 其	ノ	—	—	—	—	—	—	—
V 布 類 及 及 同 品 品		36	—	60	10,951	—	5,616	16,627
VI 衣 類 及 及 同 品 品		—	—	—	195	—	1,225	1,456
NI 製 紙 用 パ ー ル 紙 ・ 紙 製 品 ・ 書 籍 及 繪 畫		—	—	—	—	—	261	261
MI 織 物 及 及 同 品 品		1,420	—	—	4,730	—	327	6,477
1 機	ノ	—	—	—	—	—	—	—
2 其	ノ	1,420	—	—	4,730	—	327	6,477
XII 陶 器 及 及 同 品 品		—	—	—	—	—	64	204
XIII 機 器 及 及 同 品 品		—	—	—	—	—	745	745
XIV 金 屬 及 及 同 品 品		—	—	—	—	—	1,546	2,280
XV 金		400	—	—	274	—	—	—

XVI 時計・學術器・銃砲・車輛・船舶及機械類									
XVII 雜									
1	木材及木製	1,681	—	—	275	—	315	590	
2	木	—	—	—	8,484	—	3,389	13,554	
3	木	—	—	—	—	—	1,493	1,493	
4	其他	1,681	—	—	8,484	—	1,898	12,061	
合	計	13,763	—	—	51,622	—	28,900	94,345	

輸 入 品 (昭和三年中)

品 目	支 離 別	イ	ヤ	ラ	ト	ホ	ヤ	計
I 植物	及 動物	7,200	—	—	—	—	—	7,350
II 穀物・穀粉・澱粉類及種子	及 糧食	3	—	150	—	—	—	1,202
1 米	及 其	3	—	1,199	—	—	—	1,202
2 其他	及 其	—	—	1,157	—	—	—	1,160
III 飲 食 物	及 其	61,597	—	42	—	—	—	42
1 蔬菜	及 其	15	—	652	—	—	—	70,203
2 砂糖	及 其	60,945	—	82	—	—	—	97
3 鹽	及 其	—	—	517	—	—	—	69,374
4 酒精	及 其	—	—	—	—	—	—	1

5 果汁・糖水等非酒精含有飲料	草	76	—	—	—	—	—	76
6 煙	草	2	—	25	—	—	—	27
7 其他	草	559	—	28	—	—	41	628
Y 皮毛・骨・角・齒牙・甲殼及其ノ製品	油	—	—	118	—	—	—	118
1 石	油	387	—	12	—	—	6	405
2 其他	油	—	—	—	—	—	—	—
VI 藥材・化學藥・製藥其ノ調合及爆發藥	藥	387	—	12	—	—	6	405
VII 染料・顔料・塗料類及填充料	藥	105	—	—	—	—	30	30
VIII 絲・綫・繩・索及同 材	藥	—	—	—	—	—	3	3
IX 布 帛 類	藥	1,429	—	13	—	—	319	1,761
X 衣 類	藥	501	—	6	—	—	89	599
XI 製紙用ノ紙・紙製品・書籍及繪畫	製	—	—	—	—	—	20	20
MI 鑛 物	製	—	—	—	—	—	—	—
1 石	製	—	—	—	—	—	—	—
2 其他	製	—	—	—	—	—	—	—
XIII 陶磁器・硝子及硝子製品	製	9	—	—	—	—	—	9
XIV 鑲 金	製	—	—	—	—	—	—	—
XV 金 屬	製	26	—	44	—	—	632	702
XVI 時計・學術器・銃砲・車輛・船舶及機械類	製	211	—	50	—	—	38	499
1 船	製	—	—	—	—	—	—	—
2 其他	製	211	—	50	—	—	38	499

品目	大正十三年	大正十四年	昭和元年	昭和二年	昭和三年
2 其他	124	4,635	8,233	6,179	6,477
XII 陶磁器・硝子及硝子製品	24	131	126	275	216
XIII 鐵及金屬製物品	—	—	—	—	976
XIV 金	1,139	601	11,171	2,214	2,552
XV 時計・學術器・銃砲・車輛・船舶及機械類	1,505	8,103	26,484	7,080	1,066
XVI 雜	1,085,654	1,701,920	1,902,472	1,894,337	2,181,079
XVII 雜	1,037,330	1,677,355	1,876,431	1,792,267	1,964,576
1 ヲ	7,749	1,292	2,733	2,013	3,222
2 木材	4,325	2,735	16,652	68,487	132,039
3 木	36,250	20,538	6,606	31,570	81,242
4 其他	3,535,311	5,864,534	6,538,095	8,303,129	8,635,114
合					

移輸入品累年表

品目	大正十三年	大正十四年	昭和元年	昭和二年	昭和三年
I 植物及動物	2,898	2,309	2,921	8,258	11,100
II 穀物・穀粉・澱粉類及種子	487,262	688,276	688,430	660,620	858,139
1 米	392,892	552,467	506,711	491,744	730,306
2 其他	94,370	135,809	181,719	168,876	127,833
III 飲食物及煙草	556,038	695,138	926,187	984,235	1,235,849

1 蔬菜・果實及核子糖	—	—	—	—	32,500
2 鹽	40,098	64,055	172,492	189,381	152,530
3 酒	—	—	—	—	10,609
4 酒精含有飲料	130,012	155,470	150,741	210,802	255,000
5 果汁・糖水等非酒精含有飲料	18,219	30,592	41,335	42,211	52,414
6 煙草	123,749	136,957	157,089	168,374	229,753
7 其他	243,960	308,064	404,550	378,467	503,043
IV 皮毛・骨・角・齒牙・甲殼及其ノ製品	16,828	30,910	29,536	33,546	19,365
1 油	131,173	149,314	161,963	178,546	253,232
2 其他	81,653	79,539	61,708	75,625	104,745
V 藥材・化學藥・製藥其ノ調合及爆發藥	49,220	69,725	100,255	102,921	143,487
VI 染料・顏料・塗料類及填充料	51,752	68,529	128,639	58,539	61,672
VII 絲織・綢・絹及同製物品	21,215	19,353	28,687	26,692	38,975
VIII 布類及同製物品	49,885	68,621	78,711	59,763	92,497
IX 衣服類及同製物品	248,956	315,771	302,724	293,958	385,555
X 製紙用パルプ紙・紙製品・書籍及繪畫	157,538	165,726	221,724	238,325	198,773
XI 鐵	42,301	54,547	46,658	58,596	96,202
1 石	100,340	170,124	205,025	160,632	257,286
2 其他	79,362	122,632	112,666	95,646	151,066
XII 陶磁器・硝子及硝子製品	20,978	47,492	92,359	64,986	86,220
XIII 鐵	26,026	21,672	—	—	38,303
XIV 其他	—	—	—	—	42,464

品名	数量	金額	品名	数量	金額	品名	数量	金額
XV 金		221,469	製		212,936			336,706
XVI 時計・學術器・銃砲・車輛・船舶及機械類		129,550	品		414,846			524,128
1 船		12,883	船舶		20,326			8,700
2 其他		116,667	其他		394,520			515,428
XVII 雜		970,184	雜		539,823			591,961
1 木材		57,556	木材		77,992			87,861
2 木製		82,829	木製		190,128			250,778
3 其他		—	其他		—			—
4 其他		129,799	其他		271,703			253,322
合計		2,513,385	合計		3,647,895			4,301,895

○ 金 融

金融機關としては未だ銀行質屋等の如きものなく郵便局を唯一として擧げ得るのみ。

爲替貯金取扱金額

(昭和三年度)

局 所	振 出	振 入	計
(一) 内 國 爲 替 (郵便、通信)			
サイパン	一、五七〇、七六五	—	一、五七〇、七六五
ヤップ	二八、六六七	—	二八、六六七
パラオ	九五六、七六	—	九五六、七六
アンガウル	一、九〇、〇二一	—	一、九〇、〇二一
トラック	二、七三三	—	二、七三三
ボナペ	五〇、〇〇〇	—	五〇、〇〇〇
ヤルート	五〇〇、二三八	—	五〇〇、二三八
計	三、八三三、四七六	—	三、八三三、四七六
(二) 外 國 爲 替			
振 出	—	—	—
振 入	—	—	—
計	—	—	—
(三) 郵 便 貯 金			
振 出	—	—	—
振 入	—	—	—
計	—	—	—

計

軌條

サイパン支廳管内	哩數	軌幅	汽鐘車數	車輛數	軌條の目的	一日輸送能力	昭和三年中軌條に依る收入
バラオ支廳管内	四七九	三六	七	三九	製糖原料輸送	一、〇六七	二、七五
同	一、〇三	三〇	一	三	諸物運搬	三〇〇	一、八四
同	二、二八	三〇	五	一七	貨物運搬	三〇	一、八四
同	〇、八	三〇	一	三	官有物品材料運搬	三〇	一、八四
同	〇、七	三〇	一	三		三〇	一、八四
トラツク支廳管内	六、一五	一、七	三	五七		一、〇八	二、七五
計						六〇〇	

一七、五六

三、二五

一八、六一

八、九三

九二

三、五三

一、八四

一四、七五

諸車

サイパン支廳管内	荷車	荷牛馬車	人力車	自轉車	その他	計
ヤツブ支廳管内	五四	一、二一六	二	二六〇	二	一、五三四
バラオ支廳管内	五	一	一	三	八	九
トラツク支廳管内	三三	一	一	一六五	一	二一九
ボナベ支廳管内	三	一	一	一四	一	一八
ヤレート支廳管内	二二	二	一	一六	一	四〇
計	一三一	一、二三一	五	六八七	一〇	二、〇七〇

内地群島間及群島内各主要島間距離 (命令交通船航路に依る)

自 横濱	至マリアナ群島サイパン島	一、三五〇
自 横濱	至西カロリン群島バラオ諸島コロール島	一、七二五
自 サイパン島	至西カロリン群島ヤツブ島	五七〇
同	至東カロリン群島トラツク諸島夏島	六六〇
自 ヤツブ島	至西カロリン群島バラオ諸島コロール島	二六〇
自 バラオ諸島コロール島	至西カロリン群島アンガウル島	四〇
同	至東カロリン群島トラツク諸島夏島	一、一五〇
同	至蘭領セレベス島メナード港	六六〇
同	至米領ミンダナオ島ダバオ港	五九〇
自 ダバオ港	至蘭領セレベス島メナード港	三三〇
自 トラツク諸島夏島	至東カロリン群島ボナベ島	九〇
同	至濠洲委任統治地ケビアン港	七〇〇
自 ケビアン港	至濠洲委任統治地ラバウル港	一七〇

九三

船種	サイパン			ヤップ			パラオ			トラツク			ホナベ			ヤルト			計		
	汽船	帆船	汽船	汽船	帆船	汽船	汽船	帆船	汽船	帆船	汽船	帆船	汽船	帆船	汽船	帆船	汽船	帆船			
	隻数	噸数	隻数	隻数	噸数	隻数	隻数	噸数	隻数	噸数	隻数	噸数	隻数	噸数	隻数	噸数	隻数	噸数			
汽船	6	66	6	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
帆船	4	41	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
補助機帆船	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
獨木舟	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	12	115	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

船舶舟艇

国籍	計		
	男	女	計
	島民	357	306
外人	38	38	76
合計	395	344	739

船舶乗降人員數

邦人	入			出		
	汽船	帆船	計	汽船	帆船	計
	サイパン	4	4	8	4	4
ヤップ	1	1	2	1	1	2
パラオ	1	1	2	1	1	2
トラツク	1	1	2	1	1	2
ホナベ	1	1	2	1	1	2
クサイヤルト	1	1	2	1	1	2
計	9	9	18	9	9	18

出入船舶數

自	自	自
ボナベ	クサイヤルト	ホナベ
至東カロリン群島クサイ島	3	3
至マーシャル群島ヤルト島	2	2
至英領ギルバート島	1	1
計	6	6

郵船航路運賃表 (昭和四年四月調)

内地南洋群島各地間船客運賃表

- 食 事 和食附 (但シ晝食ハ洋食)
- 二等及三等 和食附
- 甲板客 供食セズ
- 小兒運賃 四歳未満一名無賃其餘ハ四分ノ一額
- 十二歳未満半額
- 甲板客運賃ハ南洋各島民ニ限り適用ス
- 復航大阪、神戸行運賃ハ横濱行運賃ト下記横濱ト大阪、神戸間運賃トノ合算額トス

東廻線

大 神 戸 阪	一 一 一 七 三	一 一 一 六 三	一 一 一 五 三	一 一 一 四 三	一 一 一 三 三	一 一 一 二 三	一 一 一 一 三
門 司	五 二 九 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
横 濱	一 二 七 八 九	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
二 見	一 三 四 八 三	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
サイパン	一 三 四 九 四	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
テニアン	一 三 五 〇 五	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇

東廻線

大 神 戸 阪	一 一 一 七 三	一 一 一 六 三	一 一 一 五 三	一 一 一 四 三	一 一 一 三 三	一 一 一 二 三	一 一 一 一 三
門 司	五 二 九 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
横 濱	一 二 七 八 九	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
二 見	一 三 四 八 三	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
サイパン	一 三 四 九 四	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇
テニアン	一 三 五 〇 五	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇	二 三 〇 〇 〇

○「サイパン」「ロタ」間運賃
 一 一 一 〇 〇
 二 五 〇 〇 〇
 五 〇 〇 〇 〇
 甲 三 二 一
 板 等 等 等

サイパン
 一 一 二 四 五
 〇 〇 〇 〇 〇
 〇 〇 〇 〇 〇
 甲 三 二 一
 板 等 等 等

○「ソンスル、トコベ」臨時寄港運賃
 「ソンスル」及「トコベ」ヨリ「バラオ」又ハ「メナード」ヲ經テ各港ニ至ル相互間運賃ハ下記運賃率ニ更ニ「バラオ」又ハ「メナード」ヨリ各港ニ至ル運賃ノ合算額トス

○「ソンスル」又ハ「トコベ」ニ臨時寄港ノ場合「アングアル」以北各港ト「メナード」相互間運賃ハ西廻線運賃ヲ適用ス

東西連絡線

大 神 戸 阪	一 一 一 四 九 四	一 一 一 三 九 四	一 一 一 二 九 四	一 一 一 一 九 四	一 一 一 〇 九 四	一 一 一 〇 〇 〇
門 司	四 七 〇 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇
横 濱	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇
アングアル	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇
ボナベ	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇
グサイ	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇
ヤルット	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇

西廻線

大 神 戸 阪	一 一 一 五 一 六	一 一 一 四 一 六	一 一 一 三 一 六	一 一 一 二 一 六	一 一 一 一 一 六	一 一 一 〇 一 六
門 司	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇	四 八 二 〇 〇
横 濱	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇
サイパン	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇
テニアン	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇
ヤルット	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇	一 二 三 〇 〇

ソンスル・トコベ寄港運賃

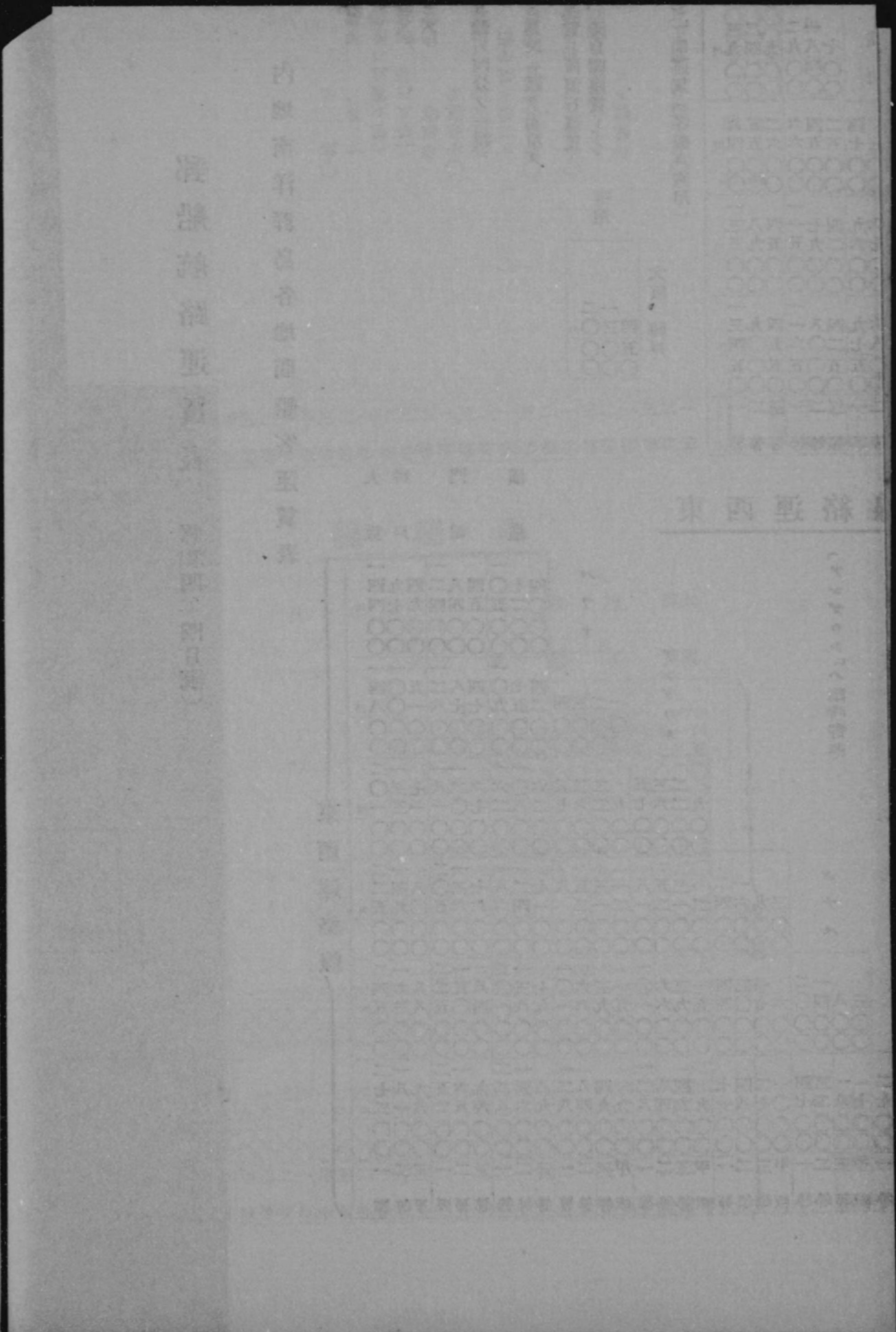
メナード	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇
トコベ	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇
ソンスル	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇
アングアル	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇
バラオ	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇	一 一 一 〇 〇

雑貨	最低	小荷物	雑貨	最低	小荷物	雑貨	最低	小荷物	雑貨	最低	小荷物	雑貨	最低	小荷物	雑貨
一噸	一口	一個	一噸	一口	一個	一噸	一口	一個	一噸	一口	一個	一噸	一口	一個	一噸
四、〇	二、〇	〇、五	五、〇	三、〇	一、〇	八、〇	四、五	二、〇	一八、〇	一〇、〇	三、〇	一六、〇	八、五	三、〇	一六、〇
イ サ ク			三、〇	一、五	〇、五	五、〇	三、〇	一、〇	一六、〇	八、五	三、〇	一四、〇	七、五	三、〇	一四、〇
			ベ ナ ホ			三、五	二、〇	一、〇	一四、〇	七、五	三、〇	一一、〇	六、〇	二、〇	一一、〇
			クツラト			一、〇	六、〇	二、〇	一、〇	六、〇	二、〇	八、〇	四、五	二、〇	八、〇
			ドーナメ									五、〇	三、〇	一、〇	五、〇
			ルウガンア												二、〇

トールヤ

考 備
 一 中間額金
 一 三ハルフト一〇三ナリ以下
 一 船便ノ係上物接續ノ場合接續費實費
 一 本表以外ニ受申ケルコト

雑貨
 最低
 小荷物



内地南洋間貨物運賃表

品名	單位	内地南洋間										内地南洋東方諸島間									
		サイパン	ヤップ	パラオ	アンガウル	メナード	トラツク	ボナベ	クサイ	ヤルイト	サイパン	ヤップ	パラオ	アンガウル	メナード	トラツク	ボナベ	クサイ	ヤルイト		
砂糖 (原料糖)	同	六、五	五、〇	六、〇	四、〇	八、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	六、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五		
海草、樹皮、果實、海鼠、ヒメシ油	同	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇		
棉、高瀬	同	六、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇		
木炭	同	四、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇		
コブラ	千五百斤	八、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇	九、〇		
南洋特産品	一個	二、〇	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五	二、五		
小荷物 (五才以下)	千五百斤	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇		
醫藥器、醫用品	四十才又ハ	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇		
繩、繩、吹、空、繩、アンペラ、麻袋、刺籐	四十才	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇		
肥料、種苗、農具、家畜飼料	四十才又ハ	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇	五、〇		
燐寸、荒物類	同	六、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五		
綿、布、綿衣類	四十才	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五		
硝子、硝子器、陶器、エナメル器	同	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五		
日常食糧品、菓子類	四十才又ハ	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五		
石	同	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五		
家具、引越荷物	四十才	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五	七、五		
機械油、石炭、コークス	同	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五		
木材、枕木、セメント、煉瓦、砂利	千五百斤	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五	九、五		
鐵材、鐵管、レンール	千五百斤	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇		
雜貨	船券一通	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇	四、〇		
最低運賃	百圓ニ付	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三		
原貨	同	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三	一、三		

南洋群島間貨物運賃表

品名	單位	南洋群島間																	
		サイパン	ヤップ	パラオ	アンガウル	メナード	トラツク	ボナベ	クサイ	ヤルイト	サイパン								
雜貨	一噸	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇	一八、〇
最低	一口	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇
小荷物	一個	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇
雜貨	一噸	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇	一六、〇
最低	一口	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五	八、五
小荷物	一個	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇
雜貨	一噸	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇
最低	一口	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇
小荷物	一個	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
雜貨	一噸	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇
最低	一口	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇
小荷物	一個	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
雜貨	一噸	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇
最低	一口	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇
小荷物	一個	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇
雜貨	一噸	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇
最低	一口	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇	七、〇
小荷物	一個	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇	二、〇

トールヤ

イサク

ベナボ

クツラト

ドナメ

ルリガンア

オラバ

ブツヤ

ンバイサ

見二

考備
 一 金銀中一三トアルハ一三〇ナリ以下之
 一 船便ノ上荷物接續ノ場合ハ接續費實費
 一 本表以外ニ受取ルコト

雜貨	一噸	1.50
最低	一口	1.00
小荷物	一個	.50

トコベ

雜貨	一噸	10.30	
最低	一口	4.10	
小荷物	一個	2.50	
雜貨	一噸	15.50	10.70
最低	一口	5.20	4.20
小荷物	一個	3.00	2.00

ンソル
 パラオ

○通信

全群島に郵便局七箇所を置く、各郵便局孰れも無線電信の装置を有するの外ヤップ郵便局には獨逸時代より存する海底電信ありて沖繩縣那覇局米領グム島及蘭領セレベス島メナード(現在使用せず)に接続せり。尙電話業務は「サイバン」及「バラオ」の兩郵便局に於て取扱ひつゝあり。

郵便局所在地

サイバン郵便局
同 テニアン分室
ヤ ッ プ 郵便局
バ ラ オ 郵便局
ア ン ガ ウ ル 郵便局
ト ラ ッ ク 郵便局
ボ ナ ベ 郵便局

位 置
サイバン島
テニアン島
ヤ ッ プ 島
バラオ諸島コロール島
バラオ諸島アングウル島
トラック諸島夏島
ボナベ島

備考 テニアン分室は昭和四年十一月設置せるものなり。

通常郵便物取扱数

(昭和三年度)

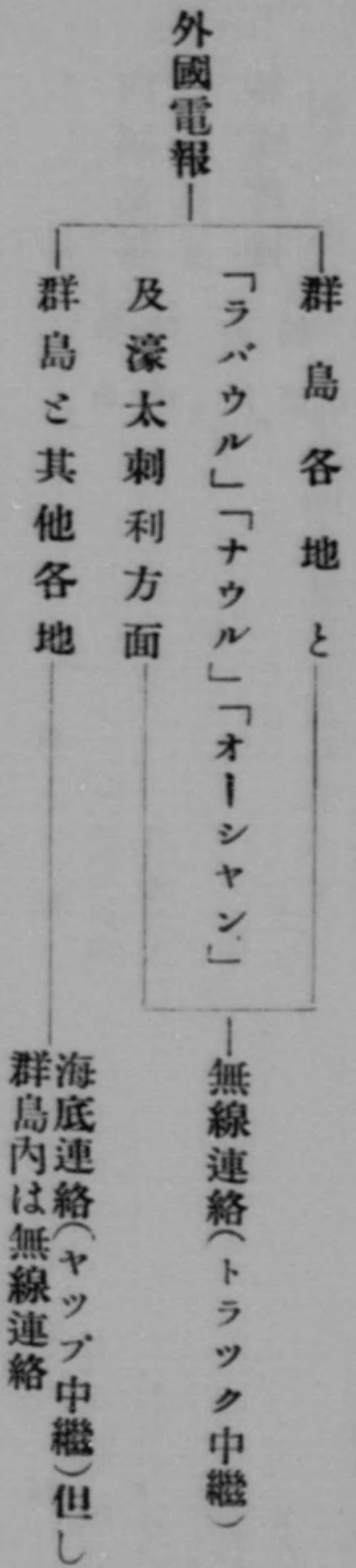
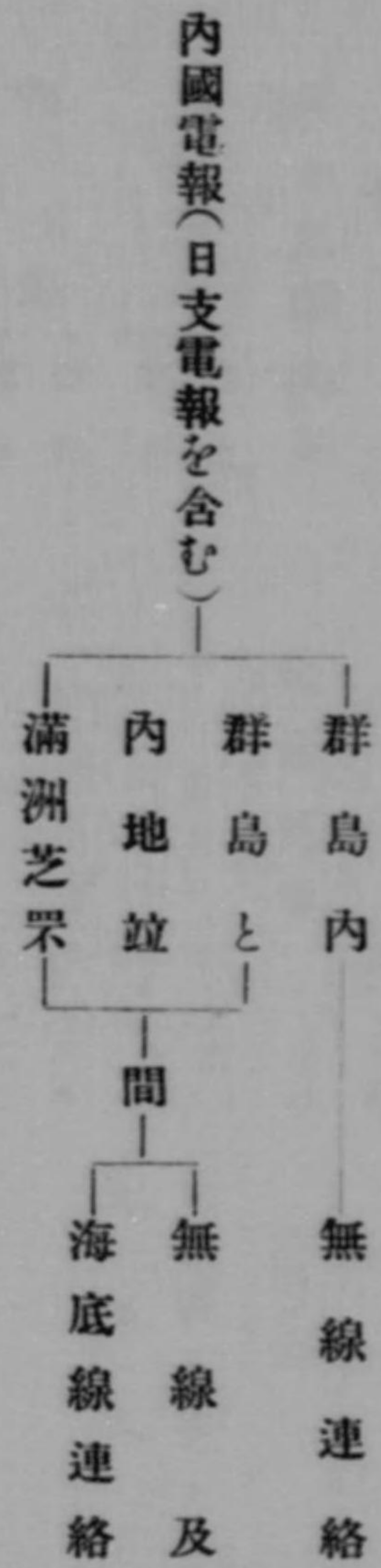
局別	引受		交付		計
	普通	特殊	普通	特殊	
サイパン	一八、四〇三	四、三〇八	一九、七二〇	三、一〇二	二二、八二二
ヤップ	三〇、三九四	七六六	三、一〇二	四〇、四七〇	四一、五七二
パラオ	一六七、六五五	二、四三三	一七〇、二八八	二、三〇〇、九〇三	二、一三〇、六〇〇
アンガウル	三三、二〇一	六八四	三三、八八五	二、六六〇	三六、五四九
トラツク	四一、八八四	一、〇九六	四二、九八〇	六六、三三〇	一〇九、四五四
ボナム	七六、〇八一	二、〇五四	八〇、一三五	一一〇、四五四	一八〇、六〇五
ヤマト	二六、〇〇四	一、六六一	二七、七四五	五五、〇〇六	八二、七六一
計	五五、六、六三八	一三、〇六六	五六、九、七〇四	九四、三、八三三	一五一、〇〇〇

小包郵便物取扱数

(昭和三年度)

引受	交付		計
	書留	再掲代金引換	
再掲代金引換	二、〇五三	七、二二六	九、二七九
書留	三〇七	一、〇七三	一、三八〇
計	二、三六〇	八、三〇〇	一〇、六六〇

電信系統



電報取扱通数及料金

(昭和三年度)

局別	内國電報		外國電報		計
	發信	着信	發信	着信	
サイパン	二六、一三三	一六、九六六	一、〇三六	一、〇三六	四三、一六五
ヤップ	五、三九九	六、六七八	一、〇三六	一、〇三六	一三、一三九
パラオ	三、二二六	二、二七	一、〇三六	一、〇三六	七、五六五
アンガウル	三、四四三	四、一六三	一、〇三六	一、〇三六	九、六八二
トラツク	九、七四九	八、〇三八	一、〇三六	一、〇三六	一九、八六八
ボナム	一〇、九三六	八、七九九	一、〇三六	一、〇三六	一九、七〇七
ヤマト	七、二六一	六、六〇九	一、〇三六	一、〇三六	一三、九〇二
計	八三、九七一	七九、三三二	六、〇六八	六、〇六八	一六〇、〇〇〇

中繼信	內國	15,135	30,000	45,135	126	3,333	60	11,866
	外國	26	53	79	1	75	1	697
通數	計	15,161	30,053	45,214	127	3,408	61	12,563
電報料	計	57,300	23,445	80,745	7,737	20,378	15,533	276,666
金	計	2,299,970	3,968,700	6,268,670	1,305,416	4,335,977	4,842,144	45,240,000

爲替貯金取扱數及金額 (昭和三年度)

內國爲替	振出	33,364	3,833,479
	拂渡	6,966	3,971,306
外國爲替	振出	25	2,109
拂渡	27	785	
貯金	預入	28,123	1,045,501
拂戻	7,685	797,494	
振替貯金	拂込	11,666	390,753
拂出	1,250	1,084,489	
年金恩給	拂渡	78	9,360
計		89,184	11,135,376

電話

局名	加入區域	交換方式	加入者數		加入未開通數
			三年度末	二年度末	
サイパン	サイパン島ガラパン	單式磁石式	90	1	25
パラオ	パラオ島コロル島 (アルミツ外二ヶ所を除く)	自働式	89	85	24
計			179	85	49

備考 本表には官應用及私設電話を含みます。

○ 財 政

豫算及決算 (圓位未滿切捨)

昭和三年度決算	歳入	二、八三四、二二二	經常部	四、七九四、六六九	計	七、六二八、八八二
	歳出	二、四四四、二〇一	臨時部	二、〇八九、九〇九		四、五三四、一一〇
昭和四年度豫算	歳入	二、九三一、五九七		二、三二〇、六五七		五、二四二、二五四
	歳出	二、七七五、三五八		二、四六六、八九六		五、二四二、二五四

租稅收入總額 (圓位未滿切捨)

人頭稅	調定濟額	七九、〇五七	收入濟額	七八、七九〇	不納缺損額		收入未濟額	二六七
		一、〇〇七、一三九		一、〇〇七、一三九				
出港稅		三六、五三〇		三六、五三〇				
關稅		七六		七六				
鑛區稅		一、一二二、八〇三		一、一二二、五三六			二六七	
計								

人頭稅徵收額 (圓位未滿切捨)

島民に非らざる者	人員	一、四三一	稅額	八、一七八	島民	人員	七一〇	稅額	三、六七五
		一〇一	六四一				一、七八七	五、九五二	
計	人員	一、五三二	稅額	一一、一四七	計	人員	一、八八八	稅額	一一、八五三
		二〇九	一、五六六				二、〇三五	一、一三四	
ヤルト支應管内	人員	三〇七	稅額	一、九三〇	ヤルト支應管内	人員	四、二五二	稅額	一、三、三八五
		二四三	一、五七〇				二、〇五三	九、五一八	
備考	人員	三、〇七九	稅額	一九、二四八	備考	人員	二、五五	稅額	二六、五七三
		九、五四五	五九、八〇九				一二、六二四	七九、〇五七	

備考 ヤルト支應管内に限り島民人頭稅はコブラ數量二一四噸を以て代納し會長之を納稅するを以て其の人員一二を掲上せり。

關稅及出港稅徵收額 (圓位未滿切捨)

關稅金額	二八、八九七	出港稅金額	一、〇〇七、一三九
サイパン支應			
ヤツブ支應			

バラオ支應	一、〇三一				一〇四
トラツク支應	三八一				
ボナベ支應	六、二二〇				
ヤルイト支應					
計	三六、五三〇			一、〇〇七、一三九	

租税外収入總額

(圓位未滿切捨)

官業及官有財産收入	調定濟額	收入濟額	不納缺損額	收入未濟額
印紙收入	一、六九四、九四〇	一、六九四、九四〇		
雜收	八、七二六	八、七二六		
官有物拂下代	八、三五三	八、〇一〇	三三三	
補充	一三、二五七	一三、二五七		
前年度剩餘金繰入	一、八〇〇、〇〇〇	一、八〇〇、〇〇〇		
計	二、九八一、四一一	二、九八一、四一一	三三三	一〇
	六、五〇六、六八九	六、五〇六、三四六		

官業及官有財産收入額

(圓位未滿切捨)

郵便電信及電話收入	醫院收入	林業收入	鑛鐵拂下代	官有物貨下料	電燈收入	計
サイパン支應管内	三〇、二六六	五、五三三		一、〇九三	一、〇〇八	二七、〇六一
ヤツプ支應管内	五、七〇八	二、七三三		五五三	一三一	三、四四〇
バラオ支應管内	三、七〇九	五、三三九		三、九六六	一、五三三	一、四六四、四〇〇
トラツク支應管内	七、〇二五	一、三三三		六二〇	一、五三三	一、六、三三三
ボナベ支應管内	九、四四四	七、〇七九		二、四三六		三、一七六
ヤルイト支應管内	一〇、一八八	七、七七一		二、七三三	八八	三、九四八
計	二九、八八八	六、二六〇	一、三六六、三五五	一〇、六〇九	一、八六七三	一、六九四、九四〇

備考 一、林業收入の重なるものは官有コブラ拂下代なり。

二、鑛鐵は六萬四千三百二十六英噸にして一英噸二十一圓五十五錢に當れり。

雜收入額

(圓位未滿切捨)

本	支	計	其ノ他	合計
免許及手数料	一、〇三三	三三	三三	三、三〇八
懲罰及沒收金	三六	三六	七	三、四四八
計	三、〇六九	七〇	四〇	三、一四九
	一、八五五	二四	三	四、六〇〇
		一、五四〇	七三	六二
		二六	三	八、〇一〇

○ 地方行政

村 吏 (昭和四年四月現在)

支應管内	村長	區長	村長	助役	計
サイバン支應管内	1	1	1	7	11
ヤツブ支應管内	10	1	1	1	13
バラオ支應管内	2	1	1	1	5
トラック支應管内	6	1	2	1	10
ボナベ支應管内	13	1	4	1	19
ヤルット支應管内	1	1	1	1	4
計	32	6	15	7	60

現在の村吏は主として舊慣に依る大酋長又は酋長にして長官の認可を経て支應長之を命じ其の管轄區域は舊慣に依る。

カナカ族の村吏を總村長村長と稱しチャモロ族の村吏を區長助役と稱す。

總村長又は區長は支應長の指揮監督を承け地方行政に關する左の事務を補助執行するの外舊慣に依り其の職務に屬する事項を執行し村長助役は總村長區長の職務を輔佐す。

- 一、法規の周知に關すること。
- 二、願、屈の進達に關すること。
- 三、支應長より發したる命令の傳達又は其の執行に關すること。

在郷軍人職業別

職業	サイバン	ヤツブ	バラオ	トラック	ボナベ	ヤルット	計
農業	327	1	23	2	3	1	356
水産	22	1	18	8	5	3	56
鑛業	1	1	1	1	1	1	6
工業	67	4	22	3	4	4	81
商業	61	8	18	2	5	7	94
交通業	3	1	1	1	1	1	8
公務	29	8	79	17	23	23	179
其ノ他ノ有業者	33	0	4	1	1	2	40
家事	15	1	6	1	1	2	24
無職	6	1	1	1	1	1	6
計	843	53	184	52	51	47	1,230

在郷軍人兵種別

計	其 他		後 備		豫 備		サイパン	ヤップ	パラオ	トラツグ	ボナハ	ヤルット	計
	陸軍	海軍	陸軍	海軍	陸軍	海軍							
八二四	一九	三九九	三二五	一三	一〇〇	六	六	一四	二六	三	四	三	三一
五二	一	三七	一〇	一	五	一	一	一	二	三	四	三	一四五
一四九	三五	五七	一五	六	二六	一	一	一	三	三	三	三	二六
四五	七	二二	二〇	三	三	四	三	三	三	三	三	三	四一
四三	八	二五	一四	三	四	三	三	三	三	三	三	三	一七
四三	四	三〇	六	一	七	一	一	一	一	一	一	一	四一
一、一五六	七四	五七〇	一七	一	一四五	一	一	一	一	一	一	一	一七

○ 教 育

教育機關としては小學校及公學校あり共に官立にして前者は邦人の兒童を教育するものにして其の程度及組織は内地の小學校と何等異なる所なし、後者は島民兒童を教養するを目的とし其の修業年限を三箇年とし土地の状況に依り之に修業年限二箇年の補習科を附設す、公學校兒童には學校用品を支給するの外土地の状況に依り食糧及被服を給與せり、島民の教師を「助教員」と稱す訓導を補助する者なり。

「サイパン」島及び「パラオ」島は邦人の移住するもの次第に多く大正十三年四月「サイパン」尋常小學校に昭和二年四月「パラオ」尋常小學校に高等科を併置し其の子弟の教養を計れり。

島民大工養成の目的を以て大正十五年度より「コロール」公學校に木工徒弟養成所を附置し其の修業年限を二箇年とし公學校補習科卒業男子にして成績優良なるものに入所を許し建築に必要な學科並に實習及普通學を授けつゝあり。

小學校學級職員及兒童數

(昭和四年六月三十日調)

支 廳 別	學 校 名	尋常科	高等科	職員數	兒 童		合 計
					尋常科	高等科	
サイパン支廳管内	サイパン尋常高等小學校	五	一	六	男	一六	一六
同	ラウラウ尋常小學校	一	一	二	女	一五	一六
同	チヤツチヤ尋常小學校	二	一	三	男	一六	一六
同	タナバコ尋常小學校	二	一	三	女	一五	一六
同	テニアン尋常小學校	二	一	三	男	一六	一六
同	ヤツブ尋常小學校	一	一	二	女	一五	一六
同	バラオ尋常高等小學校	三	一	四	男	一六	一六
同	トラツク尋常小學校	一	一	二	女	一五	一六
同	ボナベ尋常小學校	一	一	二	男	一六	一六
計		一八	一	一九	男	一六	一六

備考 本表掲記以外邦人兒童教育の爲アンガウル及ジャボール公學校に特別學級各一を設け訓導各一名を置く。現在兒童數アンガウル男六女五計一一、ジャボール男六女二計八あり。

公學校學級職員及兒童數

(昭和四年六月三十日調)

支 廳 別	學 校 名	本 科	補 習 科	數	邦 人	島 民	本 科		補 習 科	男 合 計	女 合 計
							男	女			
サイパン支廳管内	サイパン公學校	三	二	五	二	一	九	六	一五	一六	
同	ロタ公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	

支 廳 別	學 校 名	本 科	補 習 科	數	邦 人	島 民	本 科		補 習 科	男 合 計	女 合 計
							男	女			
ヤツブ支廳管内	ヤツブ公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	ニフ公學校	一	一	二	一	一	二	一	三	四	
同	マキ公學校	三	一	四	三	一	四	三	七	八	
同	コロール公學校	五	二	七	六	一	七	六	一三	一四	
同	マルキヨグ公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	ガラルド公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	ベリユエー公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	アンガウル公學校	一	一	二	一	一	二	一	三	四	
同	夏島公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	春島公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	冬島公學校	一	一	二	一	一	二	一	三	四	
同	水曜島公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	コロニー公學校	三	二	五	四	一	五	四	九	一〇	
同	ウー公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	メタラニウ公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	キチー公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	クサイ公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
同	ジャボール公學校	三	二	五	四	一	五	四	九	一〇	
同	ウオツヤエ公學校	二	一	三	二	一	三	二	五	六	
計		四四	二〇	六四	五五	三三	八八	七〇	一五八	一六八	

公學校寄宿舍寄宿兒童數

(昭和四年六月三十日調)

附置せる學校名	本科			補習科			合計		
	一年	二年	三年	一年	二年	計	一年	二年	計
ヤツブ公學校	男	女	計	男	女	計	男	女	計
コロール公學校	男	女	計	男	女	計	男	女	計
夏島公學校	男	女	計	男	女	計	男	女	計
コロニー公學校	男	女	計	男	女	計	男	女	計
ジャポール公學校	男	女	計	男	女	計	男	女	計
ウオツゲエ公學校	男	女	計	男	女	計	男	女	計
計	390	273	663	182	151	333	200	199	399

公學校卒業生數 (昭和四年四月三十日調)

支應別	學校名	本科		補習科		合計	
		男	女	男	女	男	女
サイパン支應管内	サイパン公學校	3	0	0	0	3	0
同	ロタ公學校	2	0	0	0	2	0
ヤツブ支應管内	ヤツブ公學校	2	0	0	0	2	0

支應別	學校名	本科		補習科		合計	
		男	女	男	女	男	女
同	ニフ公學校	0	0	0	0	0	0
同	マキ公學校	3	0	0	0	3	0
同	コロール公學校	3	0	0	0	3	0
同	マルキヨク公學校	3	0	0	0	3	0
同	ガラルド公學校	3	0	0	0	3	0
同	ハリリユ一公學校	7	0	0	0	7	0
同	アンガウル公學校	6	0	0	0	6	0
同	夏島公學校	2	0	0	0	2	0
同	春島公學校	0	0	0	0	0	0
同	水曜島公學校	0	0	0	0	0	0
同	冬島公學校	0	0	0	0	0	0
同	コロニー公學校	0	0	0	0	0	0
同	ウ一公學校	0	0	0	0	0	0
同	メタラニウム公學校	0	0	0	0	0	0
同	キチ一公學校	0	0	0	0	0	0
同	クサイ公學校	0	0	0	0	0	0
同	ジャポール公學校	0	0	0	0	0	0
同	ウオツゲエ公學校	0	0	0	0	0	0
同	ヤルト支應管内	0	0	0	0	0	0
計		39	0	0	0	39	0

木工徒弟養成所學級職員及生徒數 (昭和四年六月三十日調)

巴拉オ支應管内	學級數	一	職員數	指導員	一	助手	一	生徒數	一年	一一	二年	九	研究生	一	計	二〇
	備考	普通學科はコロール公學校訓導の兼任なり。														

私立學校 (昭和四年四月三十日調)

支應別	學校名	邦人		島民		生徒數		計
		職員	人員	男	女	男	女	
巴拉オ支應管内	巴拉オ幼稚園	二	二	一	一	一八	二二	三九
ボナベ支應管内	ボナベ幼稚園	一	一	二	二	一四	一九	二三
ヤルトリ支應管内	私立エホン公學校	五	一	一	一	二四	三〇	五四
計				五六	六〇	五六	六〇	一一六

○ 宗 教

古來土人には特に宗教なるものなし、只一種の信仰を有せり例之或動物を一族の祖神と爲し又は或植物を神聖樹として之を崇拜するが如き、各島到る處殆ど迷信の標的たる神なるものあらざるはなし、西班牙及獨逸領時代に於て基督教宣傳師の熱心なる傳道の結果漸次基督教を信仰する者多くなれり。佛教は「サイバン」島及「バラオ」島に布教所を有し主として邦人の間に布教し、近時島民にも信者を有するに至れり。又天理教もバラオに教會を設置して布教を開始せり。

教會、布教師及信者數

支應別	宗派別	教會	說教所	布教所	修道士	島民傳道師	邦人		島民		計
							外國人	島民	外國人	島民	
サイバン	舊教	三	一	三	九	一	三〇	一	三、七二七	三、七二七	三、七二七
	佛敎	一	一	一	一	一	三五〇	一	三五〇	三五〇	
ヤッブ	舊教	一	一	二	一	一	一	一	一、五二五	一、五二五	一、五二五
	佛敎	二	四	二	二	一	四	一	一、九九六	一、九九六	
バラオ	佛敎	一	二	一	一	一	三	一	六〇〇	九五〇	一、三三〇
	天理教	一	一	一	一	一	三	一	一、一〇〇	一、一〇〇	
トラック	舊教	五	三	四	五	三	一	一	五、三四一	五、三四一	一一五
	新教	六	三	九	一	二	二	二	六、二二三	六、二二三	

警察取締ニ屬スル諸營業

計	自 殺 傷 者				被 殺 傷 者			不 慮 ノ 死 傷 者						
	厭世	戒煙	癩病	活計	精神	其	諸	爭	過失	災害	溺	諸	中	船
四				一		三	五	四	一		七	三	一	一
三		二									一			
四	一	二				一	一			六	三	一	二	
二	一									三	一	一		
一	三	二	四		一	一	二	三	六	五	一		七	七
四			一		三									
二		一			一									
一					一									
七			一	一	五									
						二	一	一	六	六				
						二	一	一	六	六				
二〇	二	四	一	二	一	二	八	八	五	二	一	二	三	三

作 業 種 別	件 數	風 水 害				火 災					
		原 山	野 林	建 物 及 土 木 營 造 物	山 林	畑 地	地				
男	邦人	九	一	一	九	三〇〇	二〇	一	七〇	五	五
女	島民	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
											一
計	七	四	一	一	一	一	一	一	一	一	
男	邦人	六	?	二	二	二	二	二	?	?	?
女	島民	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
											一
計	七	九	三	八	四	九	三	四	〇	三	
男	邦人	二	?	一	一	一	一	一	?	?	?
女	島民	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
											一
計	一	五	一	一	一	一	一	一	一	一	
合計	二	二	?	二	二	二	二	二	?	?	?

民事事件受理處分件數

法院名	受理			既濟					未濟			
	舊受	新受	計	對席判決	缺席判決	其他判決	和解	取下	其他	計	取調中	停止中
サイパン地方法院	一	五	六	二	一	一	三	一	一	六	一	一
バラオ地方法院	六	一一	一七	二	一	一	七	一	一	一三	一	一
ボナベ地方法院	七	一六	二三	四	一	一	一〇	一	三	一九	一	一
高等法院	七	一	一	四	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	七一	一七	二四	一四	一	一	一〇	一	三	二〇	一	三

和解事件受理處分件數

法院名	受理			既濟					未濟		
	舊受	新受	計	和解調	不調解	却下	取下	其ノ他	計	取調中	停止中
サイパン地方法院	一	七	八	六	二	一	一	一	八	一	一
バラオ地方法院	一	三〇	三一	二	五	一	三	一	二九	一	一
ボナベ地方法院	五	三四	三九	一九	一	一	一六	一	三五	一	一
合計	七	七一	七八	四六	七	一	一九	一	七二	一	一

○衛生

群島は熱帯圏内に在るも保健状態は一般に良好なり急性傳染病としては未だ「コレラ」、「ベスト」黄熱、睡眠病等の侵襲を見ることなく唯僅に腸「チフス」、「バラチフス」赤痢の數種を擧ぐるに過ぎず而も多くは大流行を見ず熱帯病としては「フランペジア」最も多し。

サイバン、ヤツブ、バラオ、アンガウル、トラツタ、ボナベ、ヤルトの主要島に醫院を設置し各醫院に高等官及判任官の醫師二人乃至五人、藥劑員一人を配置し診療に従事せしむるの外一般衛生、保健及傳染病豫防の事務に當らしむ。

島民は一般に衛生思想乏しきを以て之が普及を計らんが爲醫員をして時々部落又は離島を巡廻せしめ診療及衛生講話を爲さしむ。

醫院職員

醫院名	醫長	醫官	醫員	藥劑員	書記	囑託	雇	計
サイバン醫院	一	一	三	一	一	一	七	一四
ヤツブ醫院	一	一	二	一	一	一	四	八
バラオ醫院	一	一	三	一	一	一	六	一三
合計	三	三	八	三	三	三	一七	三二

ベ	ナ		ボ	グ	ツ		ラ	ト	ルウガ			ン	ア	オ	ラ	バ	ブ
	計	島民			外人	計			島民	外人	計						
一、六五五	九六七	一一	六七三	二、五二六	一、六八二	三	五七四	一、七六二	一、四一〇	四二	三三〇	二、五〇三	一、〇三三	三	一、四七七	一、二九六	
一、一九五	七五	—	四七〇	一、八三〇	一、四六〇	—	三六〇	三七一	二〇五	—	一、六六六	一、六九三	五八〇	—	一、一一三	一、〇一四	
二、八四五	一、六九三	一一	一、一四二	四、〇七八	三、一四一	三	九三四	二、一三三	一、六二五	四一	四七六	四、一九五	一、六三三	三	二、五九	二、三〇〇	
一一、九六八	五、九五〇	一八四	六、八三四	九、五七四	六、三三八	一八	三、三三八	一三、六四七	一〇、〇八三	三〇五	三、二〇〇	一五、二二三	五、〇〇〇	一七	一〇、二六六	七、〇九八	
一〇、五三三	四、四九三	—	六、〇〇〇	七、八三三	五、二五五	—	二、五八八	三、一八三	一、五三三	—	一、五九二	一三、七三三	三、四九九	—	八、七四三	六、一五九	
二三、四九二	一〇、四四三	一八四	一二、八六四	一七、四五七	一一、六三三	一八	五、八六六	一六、八三〇	一一、六七四	三〇五	四、八五一	二七、四九五	八、四三九	一七	一九、〇〇九	一三、二五七	
一三	四	—	九	二六	五	—	三	一三	一三	—	一〇	三	一五	—	一七	—	
七	一	—	六	九	—	—	九	三	—	—	二	一九	三	—	一六	—	
二〇	五	—	一五	三五	五	—	三〇	一三五	一三	—	一三	五	一八	—	三	—	
一九六	六六	—	一三〇	三六八	七六	—	二九二	一、九六六	一、七九〇	—	二六	六七五	二〇九	—	四六四	—	
四八	八	—	四〇	一〇七	—	—	一〇七	四〇	一〇	—	三〇	六七	六三	—	五九五	—	
二四四	七四	—	一七〇	四七五	—	—	三九九	一、九六六	一、八〇〇	—	一六六	一、三三〇	二七二	—	一、〇五九	—	

ツ	ヤ	ン	バ	イ	サ	別院醫		患者別
						人種別	性別	
島民	外人	邦人	計	島民	外人	邦人	男	患者
九七五	五	三六	四、三三四	一、三九九	—	二、九二四	二、九二四	外來
七三五	二〇	二五九	四、〇六五	一、七六三	—	二、三〇五	二、三〇五	患者數
一、七〇〇	二五	五七五	八、三九九	三、一六一	—	五、三三七	五、三三七	計
五、二四五	五六	一、七九七	三、八二四	九、八九九	—	二六、三三五	二六、三三五	患者延人員
四、三三三	一五	一、七六六	三七、七五五	一三、〇六五	—	二四、六九〇	二四、六九〇	男
九、四六七	二〇七	三、六六三	七五、九九八	三三、九四四	—	五三、九二五	五三、九二五	女
—	—	—	一〇四	二	—	一〇六	一〇六	計
—	—	—	五三	五	—	四八	四八	患者數
—	—	—	一七	七	—	一五〇	一五〇	計
—	—	—	一、九五	二	—	一、九四〇	一、九四〇	患者延人員
—	—	—	八〇三	二五	—	六七七	六七七	男
—	—	—	二、七五三	一三六	—	二、六二七	二、六二七	女
—	—	—	—	—	—	—	—	計

患者表 (昭和三年中)

院	患者	延人員	患者	延人員
アンガウル	—	—	—	—
トラツク	—	—	—	—
ボナベ	—	—	—	—
クサイ	—	—	—	—
ヤルト	—	—	—	—
計	四	五	一五	七
患者	—	—	—	—
延人員	—	—	—	—
患者	—	—	—	—
延人員	—	—	—	—
計	—	—	—	—
患者	—	—	—	—
延人員	—	—	—	—
計	—	—	—	—

昭和五年三月廿五日印刷
昭和五年三月廿八日發行

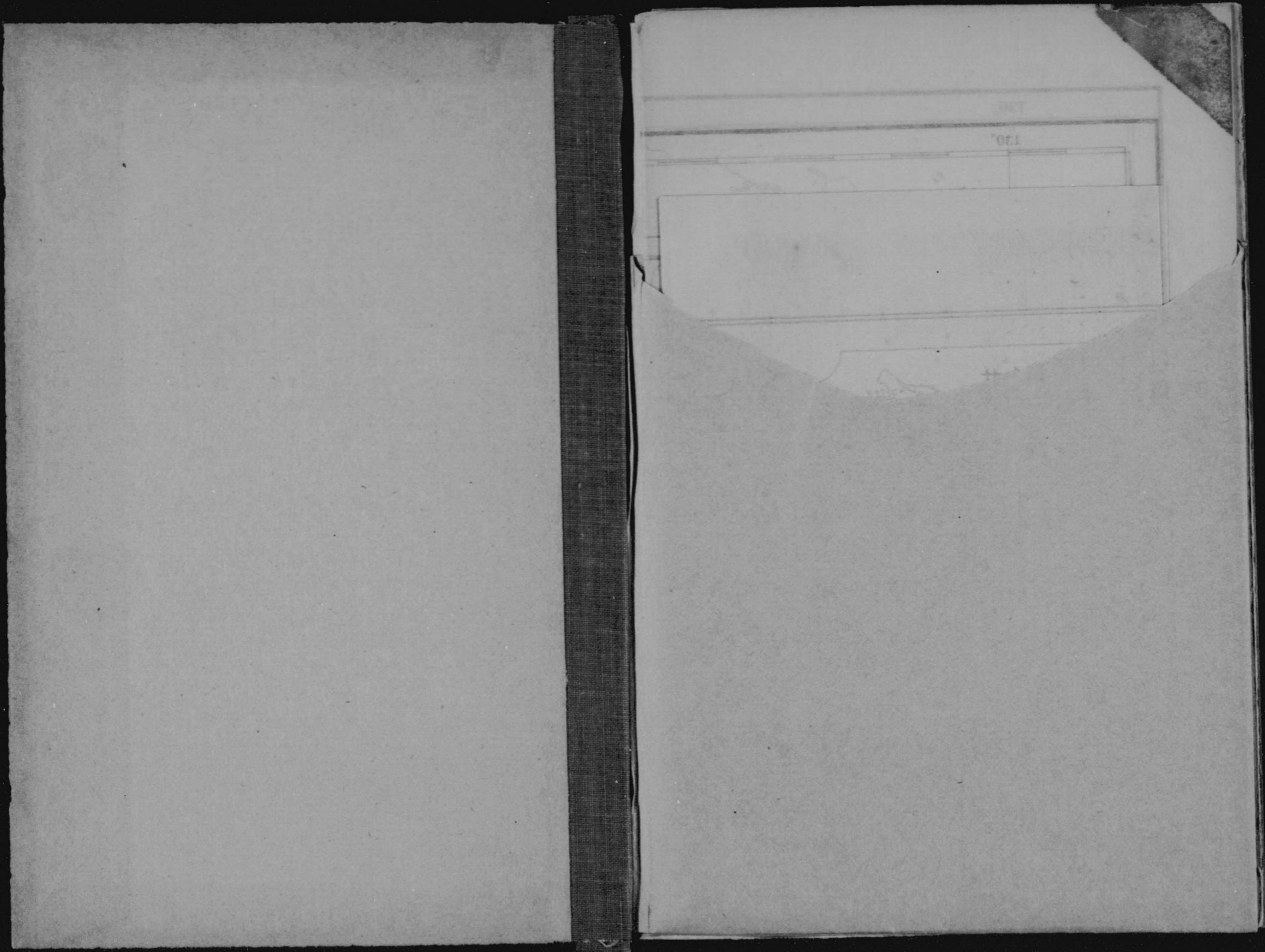
南洋廳

印刷者 西村良藏
東京市下谷區二長町一八一番地

印刷所 西村印刷所
東京市下谷區二長町一八一番地

合計			トールヤ			イサク		
計	島民	邦人	計	島民	邦人	計	島民	邦人
一五、八八三	九、〇三五	六、七六六	一、三三二	一、二五六	四、五八	四、四九	四、三	三、五
二、五五一	六、六六五	四、九〇五	一、〇六八	八四七	三三二	三、六	三、三	二、三
二七、四三三	一五、六〇〇	二、六六九	二、六六九	三、〇五五	六七九	八、五	七、六三	四、七
一三、二五七	六、二四四	五、八〇四	二、六六八	一七、五〇〇	四、九九九	二、七六	二、五〇	三、三
一〇三、〇八四	五四、六三三	四七、三三三	三、九七	三〇、三三三	一、七九五	二、四八三	二、三九四	七、九
三三、三四二	二六、八五六	一〇、五三三	四、五九五	三七、三八三	二、九	五、二五八	四、九〇四	三、二
三、九	一、五	一、七	三	八	一、四			
九七	一四	八三	六	四	二			
四、六	一〇	三、六	二、八	三、三	一、六			
五、八六	二、六三	三、〇四	七、三	四、七〇	二、四三			
一、七六	三、五	一、四七	七、三	四、七	二、五			
七、五五三	二、八七四	四、六七八	七、八四	五、七	二、六七			





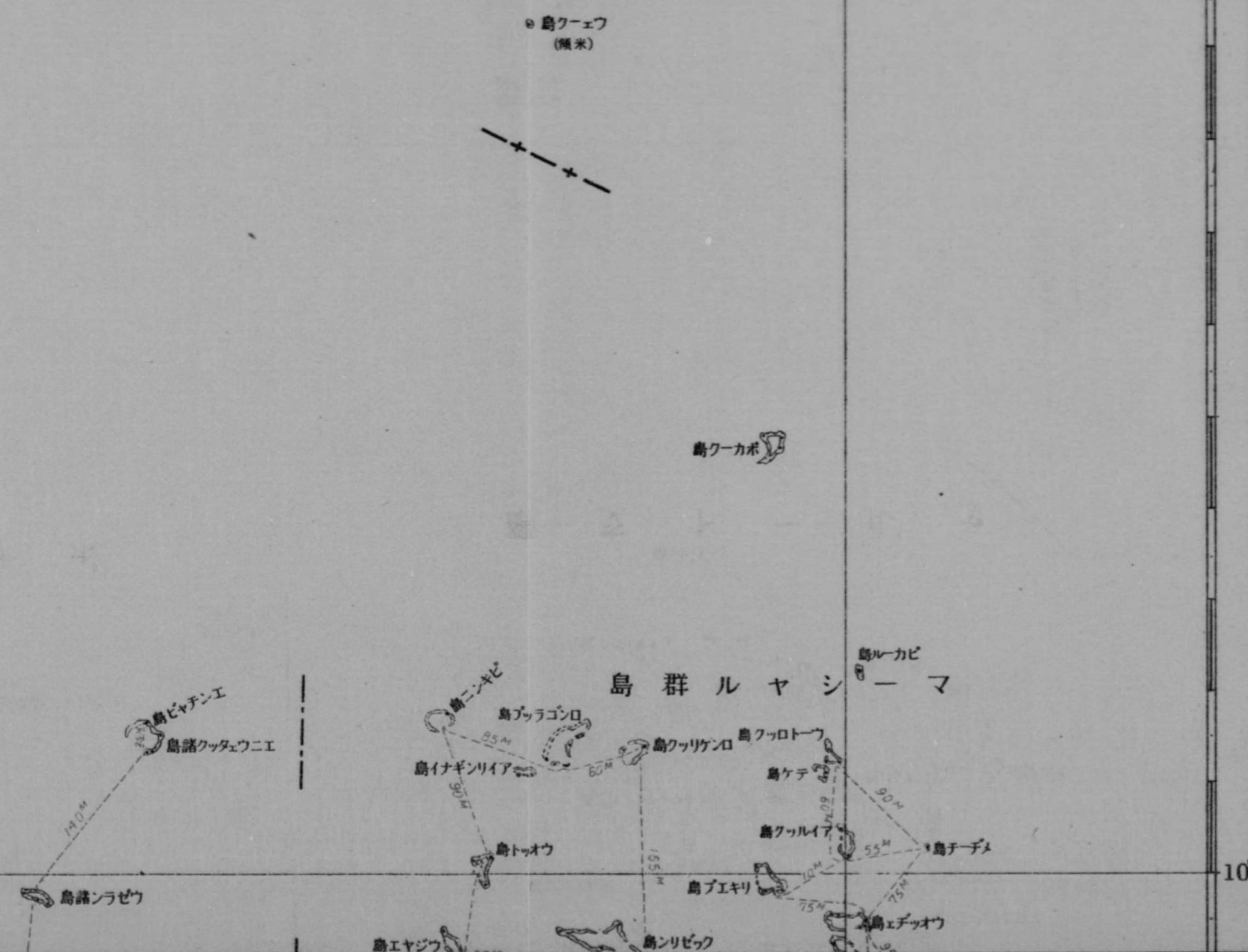
南 洋 群 島 地 圖

縮尺八千六百一十分之一

凡例

委任統治界
 支 廳 界
 内地群島間
 離島間
 航路
 海底電信

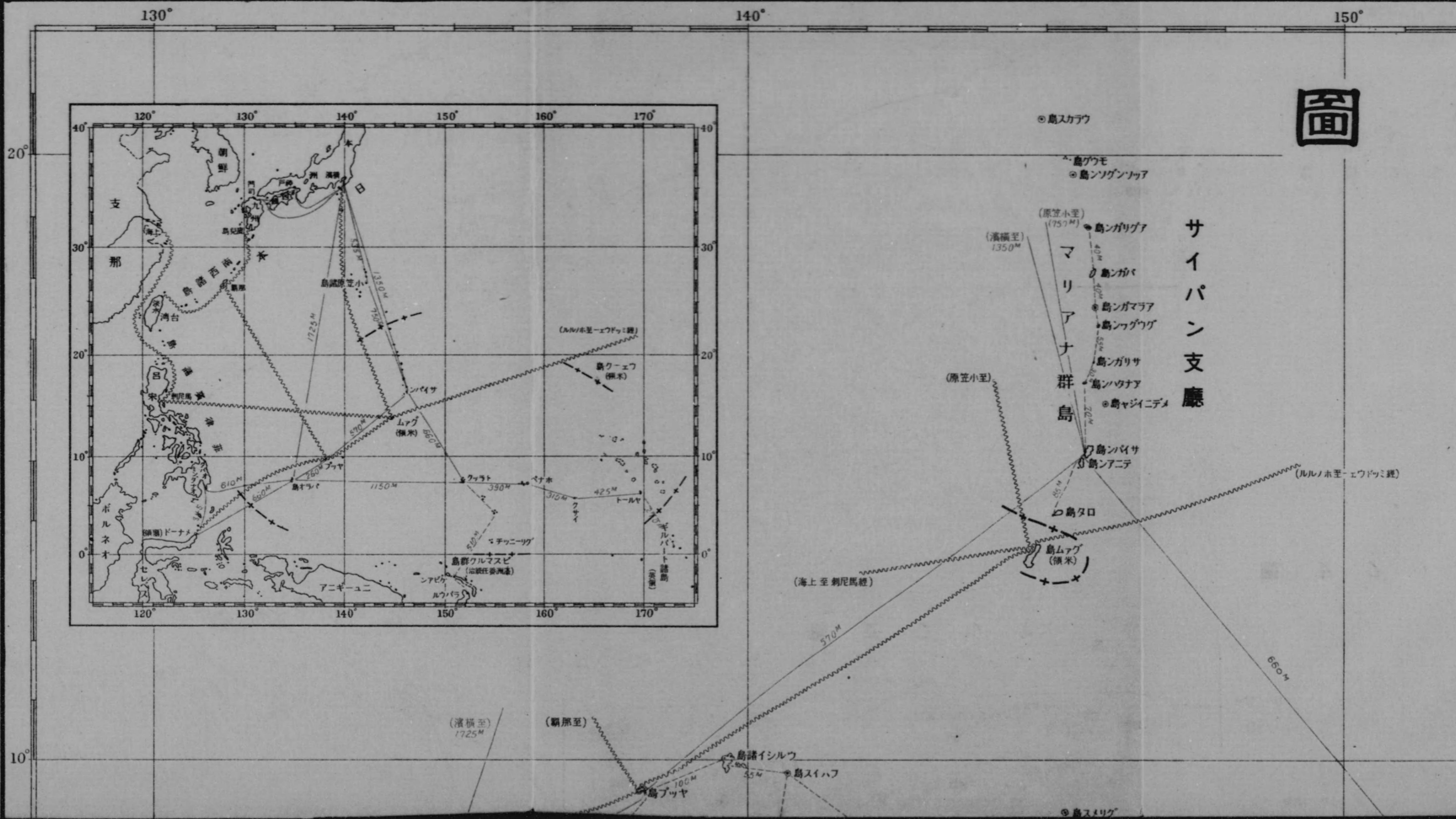
注意
 委任統治界及支廳界ハ其ノ境界ノ位置ヲ示シタルモノニアラス日本帝國ノ委任統治ノ島嶼若ハ支廳ノ管轄島嶼ト其ノ他ノ島嶼トノ區別ヲ示シタルモノナリ



(ルルノホ至エウドツニ線)

650M

地 圖



◎島スカタフ

▲島グウモ
◎島ソグンソフア

(原笠小至) 1757M
(濱横至) 1350M
島ガリグア
島ガバ
島ガマラア
島ツグツグ
島ガリサ
島ソウナア
◎島ヤジニデメ

サイパン支廳

島ソイサ
島アニデ

島タロ

島ムアブ (領米)

(海上至 刺尼馬陸)

(ルルノホ至 エフドゥミ線)

570M

660M

(濱横至) 1725M

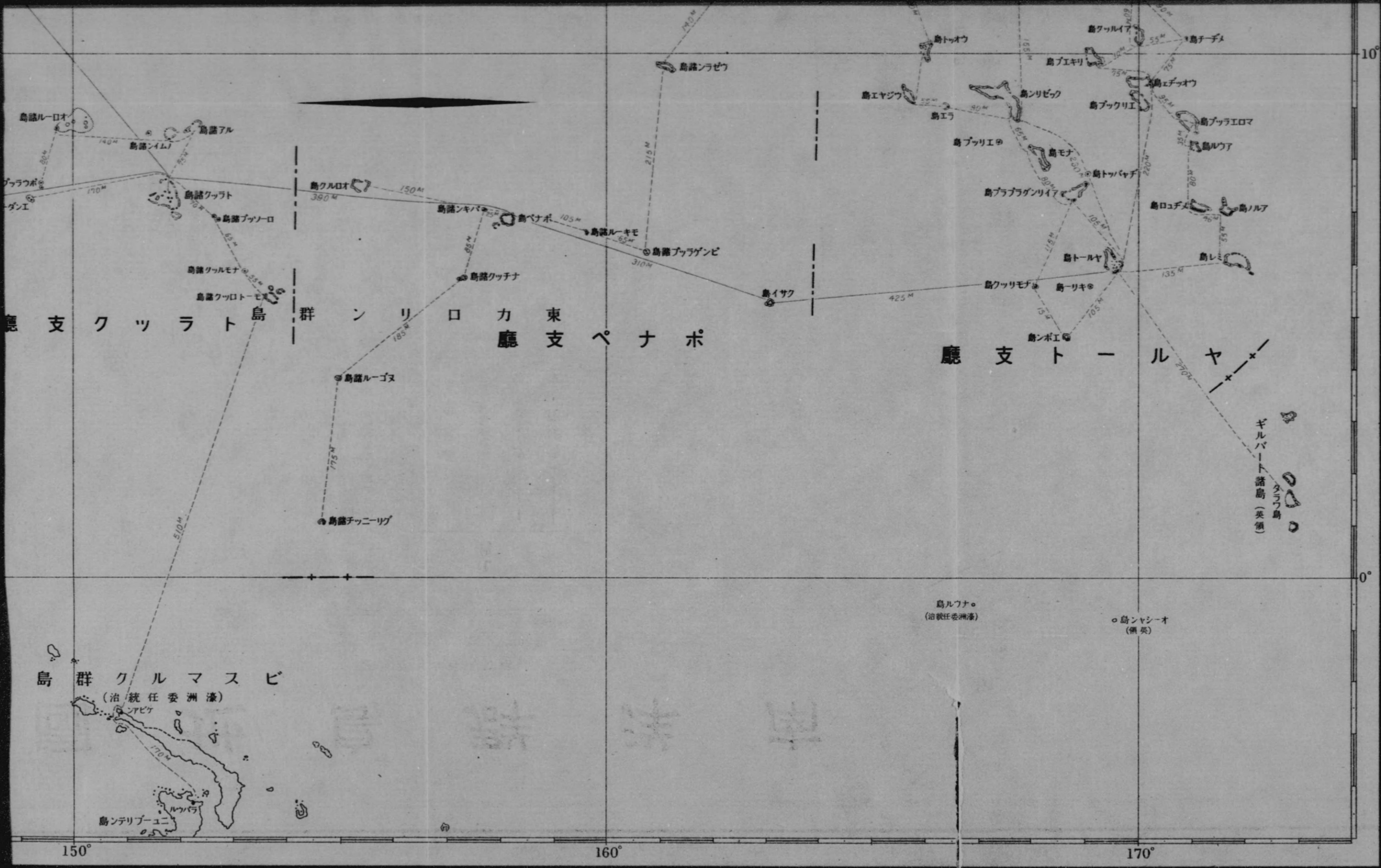
(原笠至)

島諸イシルウ

島スイハフ

島アツヤ

◎島スミク



島群クツラト
島群クルマスビ
島群トルヤ
島群ナポ

島群トルヤ

ギルバート諸島 (英領)
タラフ島

島ルフナ
(治統任委洲濠)

島ンヤシーオ
(領英)

島群クルマスビ
(治統任委洲濠)

島ンテリプーニ

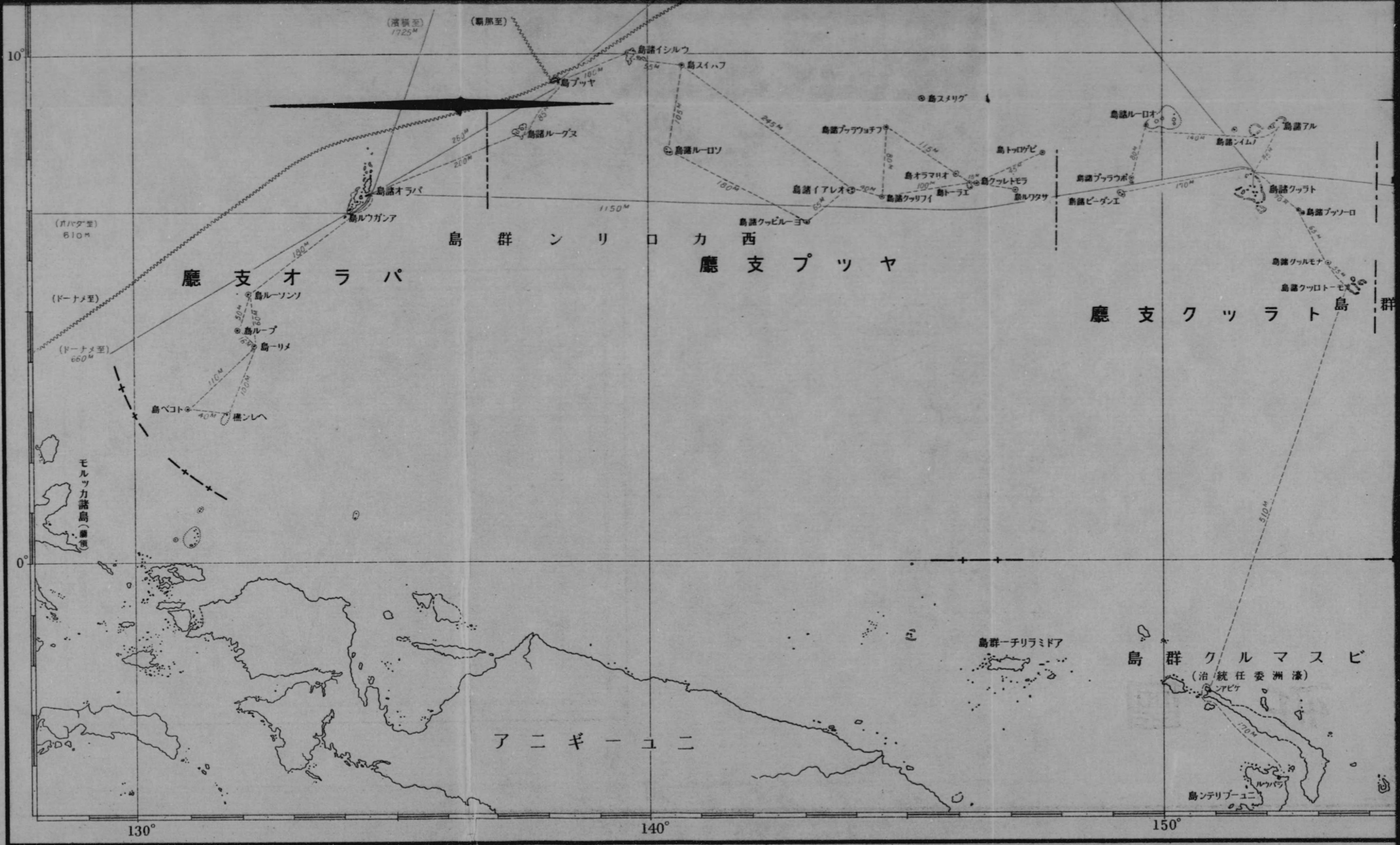
150°

160°

170°

10°

0°



(濱横至) 1725^M

(嶺那至)

10°

(ババタ至) 610^M

(ドーナメ至)

(ドーナメ至) 660^M

モルツカ諸島(嶺横)

0°

130°

140°

150°

島群ニリロカ西
島群プツヤ

島群クツラト

島群チリラミディア

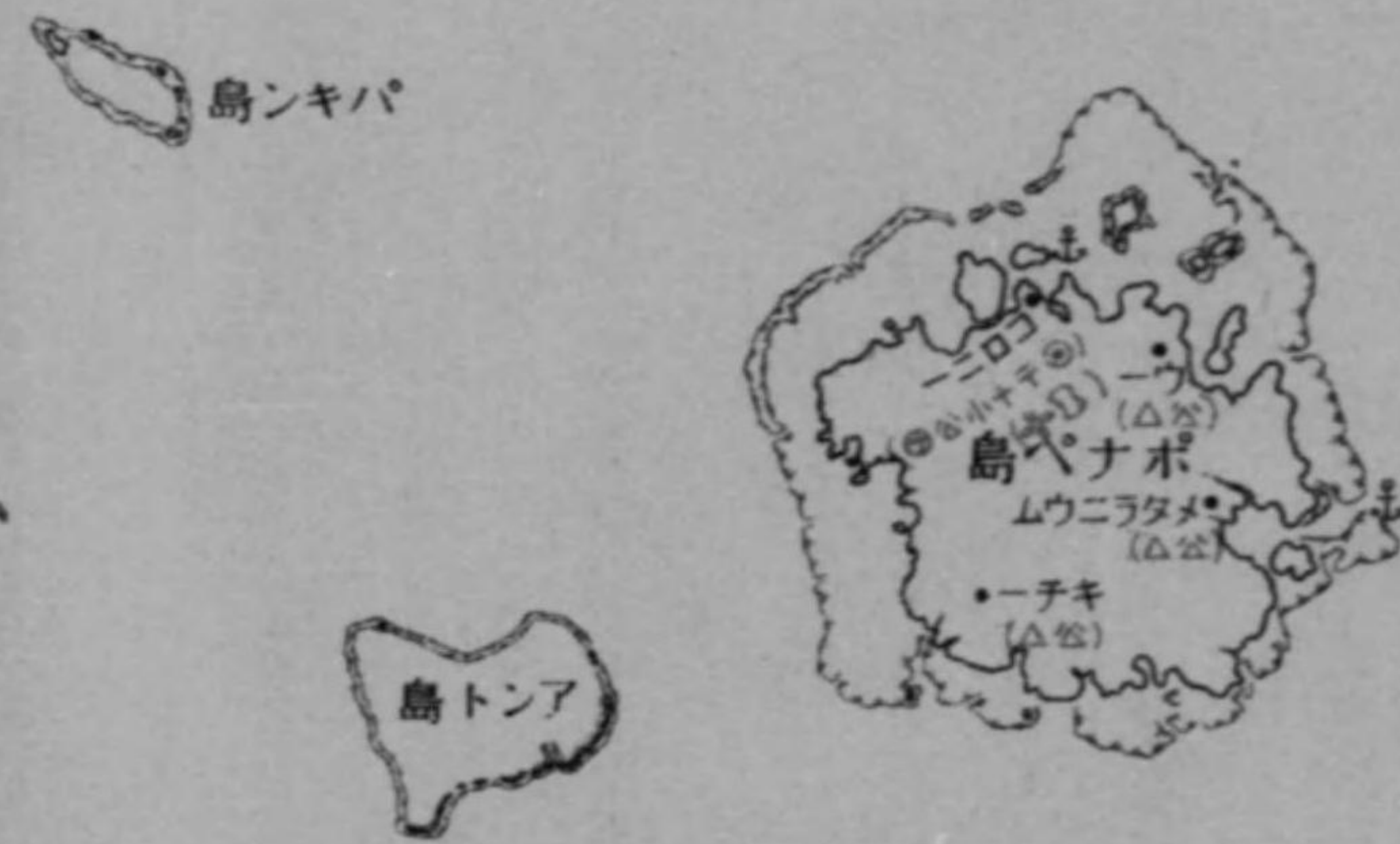
島群クルマスビ

(治統任委洲濠)

アニギューニ

島テリプーニ

圖島ペナポ



圖島諸クッタト



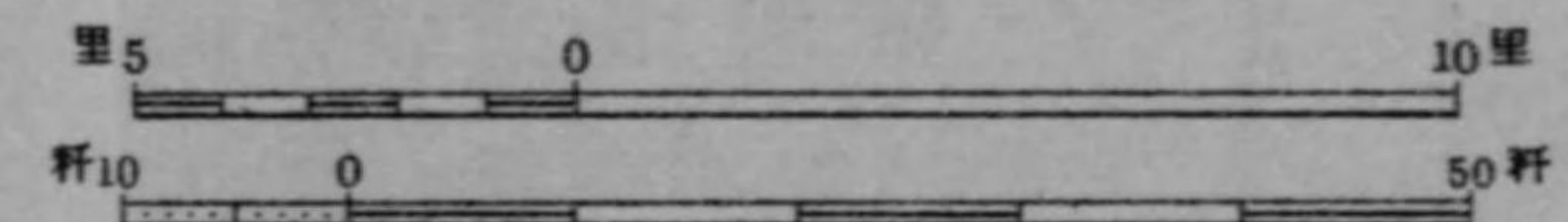
圖島諸ンパイサ



圖島プッヤ

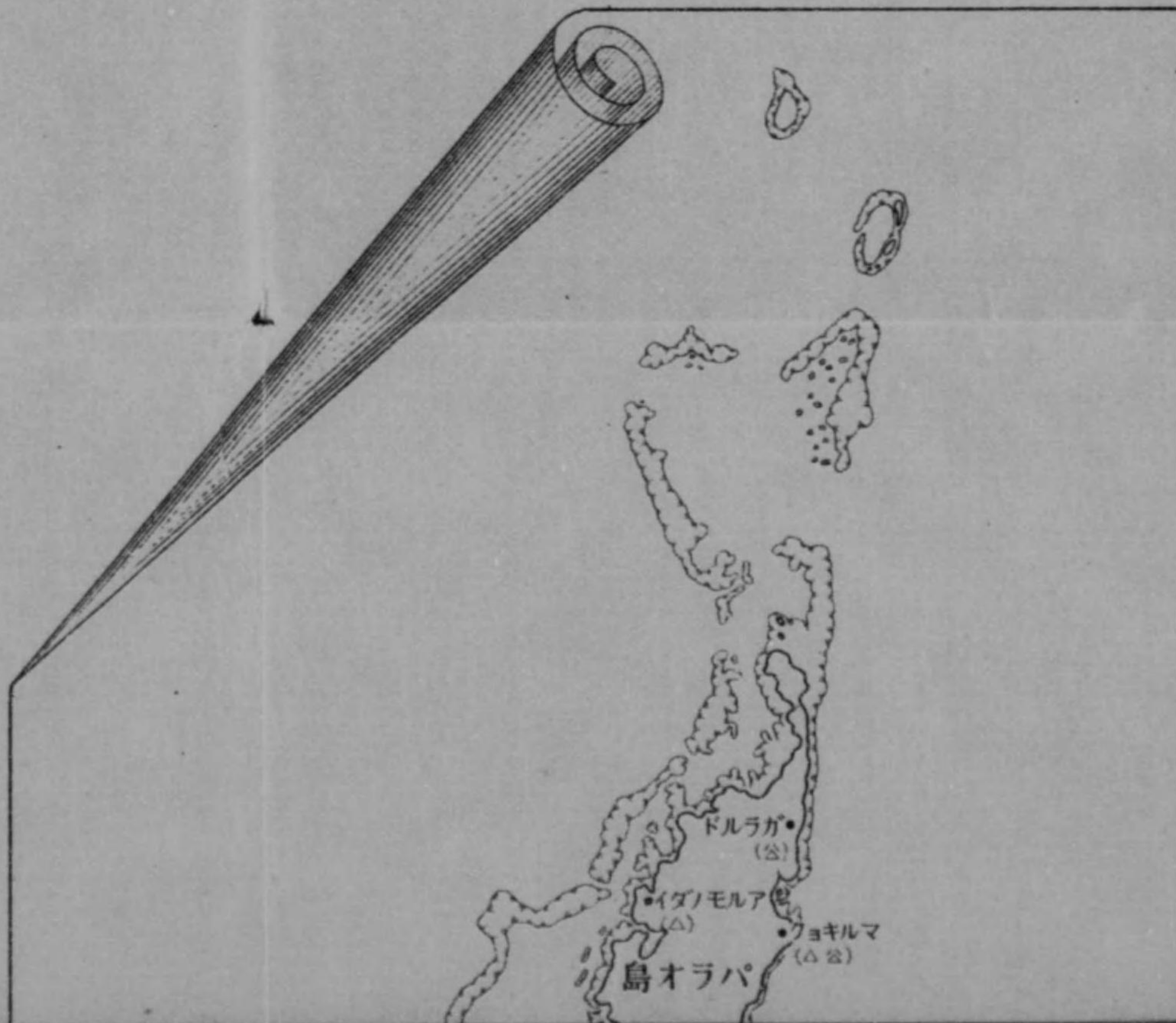
圖島要主島群洋南

臺之分萬百尺縮



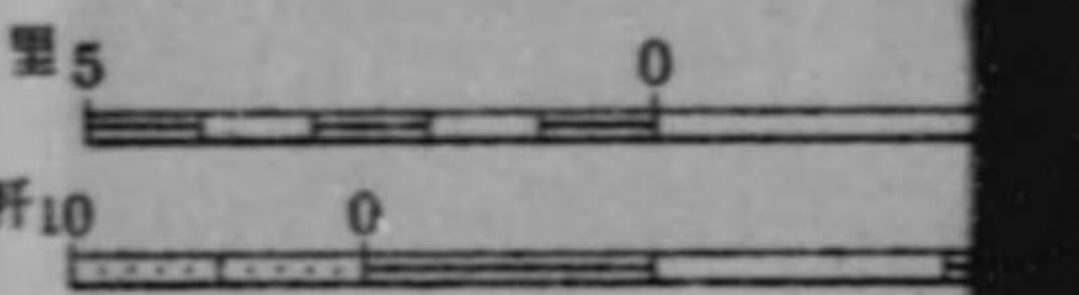
例 凡

☆	⚓	⌋	✦	×	△	△	⊕	公	小	+	〒	◎	◎
燈	港	産	観	採	警	巡	法	公	小	醫	郵	支	南
臺	灣	業	測	鑛	部	査	院	學	學	院	便	洋	廳
		場	所	所	所	所	院	校	校	院	局	廳	廳



主 要 島 圖

海 分 之 臺



例

☆	⚓	⊔	✦	×	△	△
燈	港	産	観	採	警	巡
臺	灣	業	測	鑛	部	査
		試	所	所	補	駐
		驗			派	在
		場			出	所

サ イ パ ン 諸 島 圖

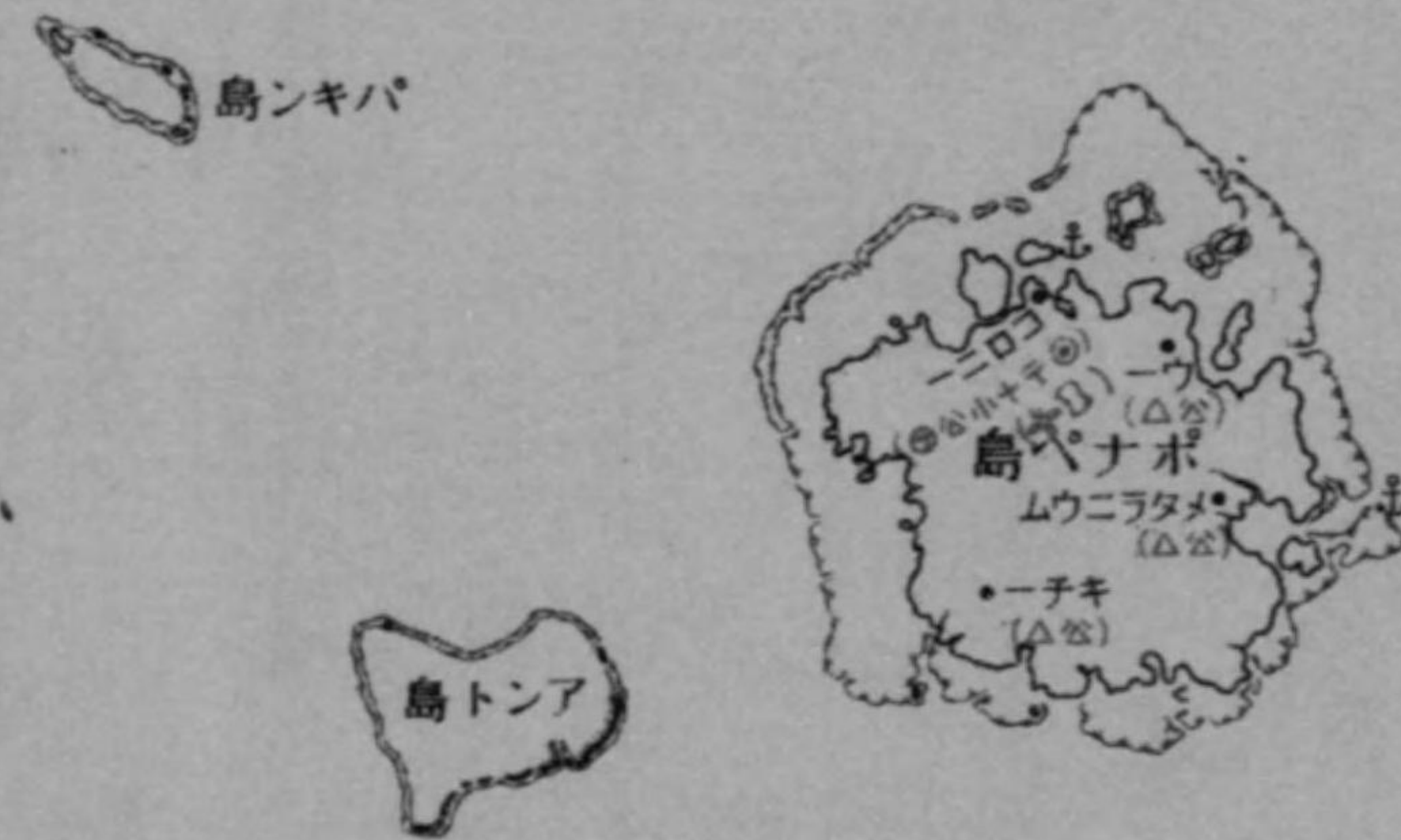


島タロ (公△)

ク イ サ 島 圖



ポ ナ ペ 島 圖



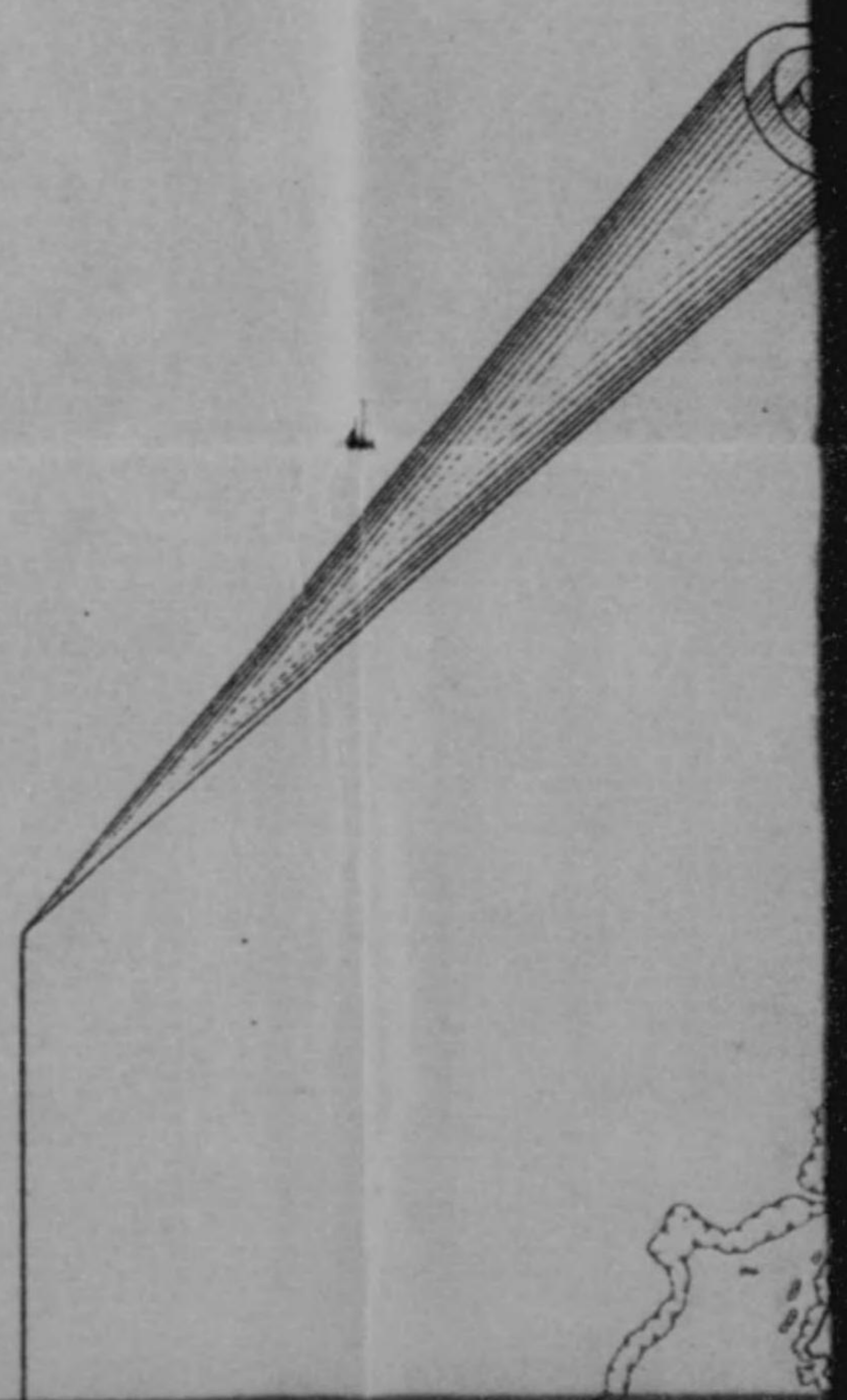
ヤ ル ト 島 圖



ト ク 諸 島 圖



ヤ プ 島 圖



☆ 燈臺 港 産業 観測 採鑛 警部補派出所 巡査駐在所 法公 小 醫 郵 支 南
 臺灣 試驗場 場所 所 所 所 院 校 校 院 局 廳 廳



圖 島 諸 ク ッ ラ ト



圖 島 プ ッ ヤ

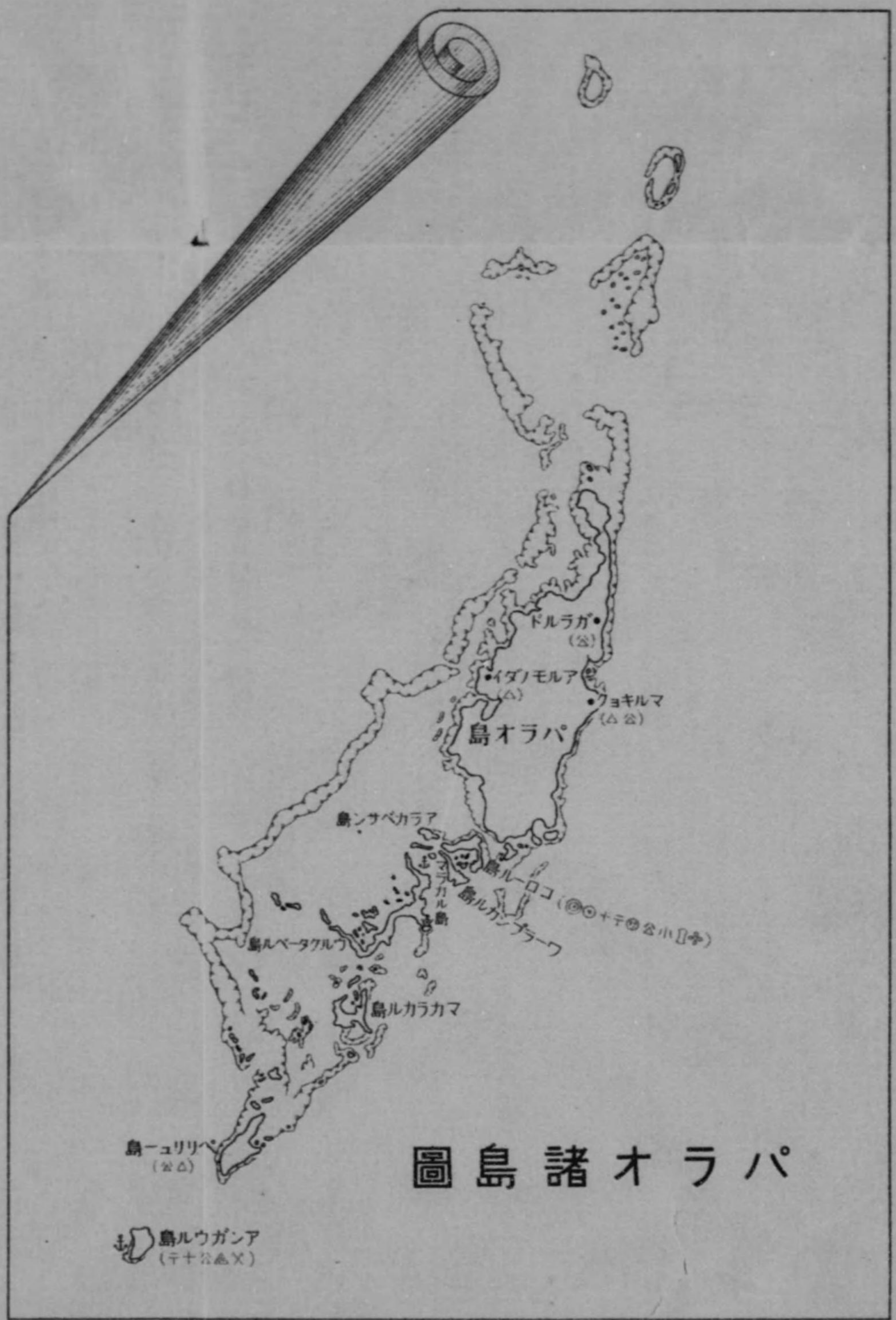


圖 島 諸 オ ラ パ

☆ 燈臺
 港
 産業試驗場
 臺灣

〇 探測所
 觀測所

× 採鑛所
 鑛所

△ 警部補派出所
 警部補派出所

△ 巡査駐在所
 巡査駐在所

⊕ 法務院
 法務院

